設計者	確認者	リーダー	副室長	室　　長

業務委託　~~設計書・~~ 仕様書

令和　　6　　年度

委託名称　川越北消防署防災学習展示及び映像コンテンツ作製業務委託

委託場所　川越市御成町１番ほか

委　託　費　￥　　円　　積算原価　￥　　円

委託の大要	
	本設計業務委託は、川越北消防署の防災学習展示及び映像コンテンツを作製し設置する業務委託である。
	・展示造作業務　一式
	・映像・音響設備設置業務　一式
	・電気・照明設備設置業務　一式
	・情報系機器設備設置業務　一式
	・グラフィック・グラフィックソフト・映像ソフト制作業務　一式

委　託　内　訳　書				
名　　称	数　量	単　位	金　　額	摘　　要
1．業務価格				
A．標準業務経費	1	式		
B．特別経費	1	式		
積 算 原 価	1	式		
2．消費税等相当額	1	式		
委　託　費	1	式		

川越北消防署防災学習展示及び映像コンテンツ作製業務委託
仕様書

１．委託名

川越北消防署防災学習展示及び映像コンテンツ作製業務委託

２．趣　旨

川越地区消防組合では、令和８年４月供用開始を目標に川越地区消防局・川越北消防署の移転整備事業を推進している。本施設内に、川越地区の災害特性を踏まえた防災意識の啓発・学習を目的として、映像等の技術を活用した防災学習コーナーの整備を計画している。

別添「川越北消防署防災学習展示及び映像コンテンツ作製概要書」（以下、「作製概要書」という。）に基づき、発注者及び建築工事受注者等との打ち合わせを行うとともに、受託者の知見を活かした展示及び映像コンテンツ作製業務（以下、「本件業務」という。）を行うものとする。

３．委託期間

契約締結日から令和８年３月１３日まで

４．委託場所

川越市御成町１番ほか

庁舎棟１階　約１１０　㎡

２階　約５０㎡及び上吹抜の壁面部分

５．委託内容

業務は以下のとおりとし、作製する防災学習展示及び映像コンテンツの内容については、作製概要書を基に検討を行う。その他仕様書に記載のない事項は、作製概要書に記載の特記仕様書によるものとする。

（１）展示製作範囲

ア　展示造作（展示壁面造作、展示什器製作他）

イ　映像・音響設備設置（AV 機器購入・設置調整、システムプログラム他）

ウ　電気・照明設備設置（電気設備・照明器具設置他）

エ　情報系機器設備（PC 機器設置調整他）

オ　グラフィック制作（パネル印刷・設置調整他）

カ　グラフィックソフト制作（原稿調整・デザイン・データ作成）

キ　映像ソフト制作（シナリオ作成・録音・編集・データ作成）

（２）打ち合わせ

発注者及び建築工事受注者等との打ち合わせ等は次の時期に行う

ア　業務着手時

イ　定例打ち合わせ時

ウ　その他必要と認めた時

（３）打ち合わせ議事録の作成

６．委託条件

・本業務委託で展示物等を設置する川越地区消防局の庁舎新築工事が令和７年１２月１５日まで行われているため、展示物等の設置時期については、原則、それ以降に集中して行うものとする。なお、事前に設置が必要な設備関係や、やむを得ずそれ以前に設置を行う必要がある場合は工事受注者と十分協議を行った上で設置すること。

・展示物等の設置前に設置場所や設置方法等の詳細について工事受注者と協議を行い、設置作業に支障がないことを十分確認すること。

７．提出書類

（１）実施計画書等

契約締結後すみやかに、実施計画書等必要書類を提出し、発注者の承諾を受けること。

（２）成果物

受託者は、次の成果品を提出すること。

ア　完成図（もしくは承諾図）　Ａ３版　２部

イ　完成写真　Ａ４版　１部

ウ　打合せ記録

エ　各種取り扱い説明書　Ａ４版　１部

オ　上記の電子データ一式　ＣＤ－ＲもしくはＤＶＤ－Ｒ

（３）検査

受託者は、業務完了後滞りなく完了届を提出し、発注者の検査を受けること。

８．支払い方法

・完了払いとする。

９．再委託

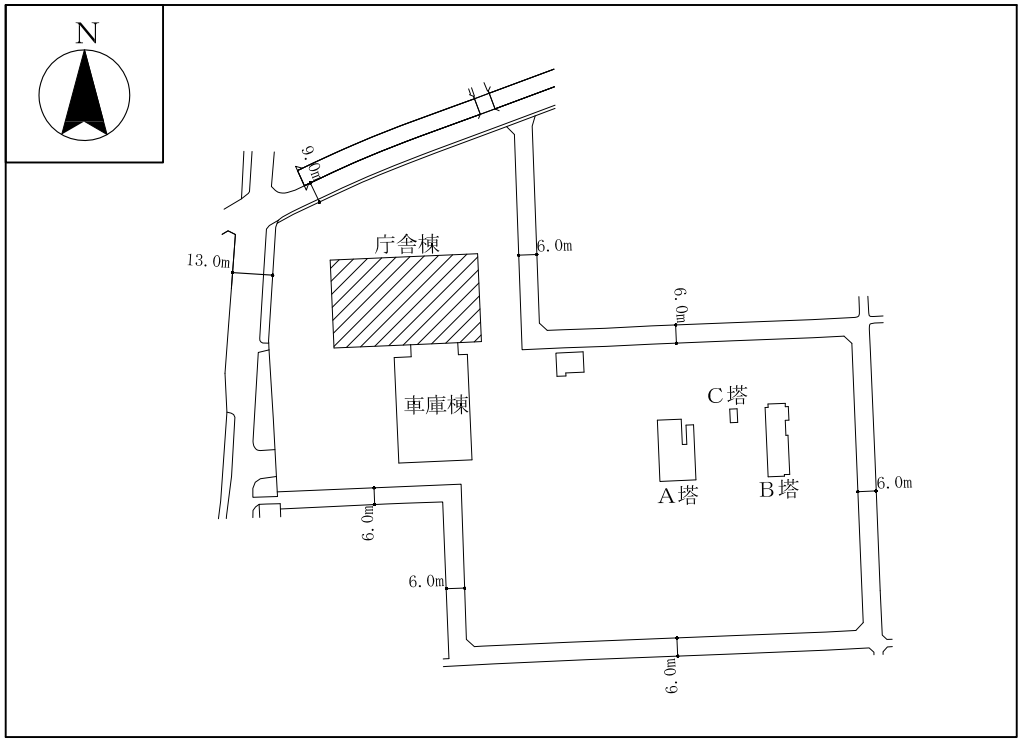
本業務委託での再委託は原則として認めない。ただし、やむを得ず業務の一部を委託しようとするときは、予め下記の事項を書面に記載したうえ発注者に提出し、発注者の承諾を得なければならない。

（１）再委託する業務の内容
（２）再委託する理由
（３）再委託先の事業者名
（４）再委託先に対する管理・監督方法
（５）再委託先の業務従事者名
（６）その他発注者が必要と認める事項

委 託 名	川越北消防署防災学習展示及び映像コンテンツ作製業務委託
委託場所	川越市御成町１番ほか

案内図

配置図 １／２，５００



：本委託建物

川越北消防署防災学習展示及び映像コンテンツ作製概要書

㈱安井建築設計事務所

B　防災学習展示

B00	図面リスト	01		01		01		01			
B01	特記仕様書(1)	02		02		02		02			
B02	特記仕様書(2)	03		03		03		03			
B03	展示スト ーリ ー	04		04		04		04			
B04	1階平面図	05		05		05		05			
B05	1階展開図	06		06		06		06			
B06	2階平面図	07		07		07		07			
B07	2階展開図	08		08		08		08			
B08	ガイダンス映像　什器図	09		09		09		09			
B09	初期消火体験　什器図	10		10		10		10			
B10	119番通報体験　什器図	11		11		11		11			
B11	川越地区ハザード マップ　什器図	12		12		12		12			
B12	壁面造作図	13		13		13		13			
B13	川越防災タウンイラスト　什器図	14		14		14		14			
B14	水害体験　什器図	15		15		15		15			
B15	消防の仕事　什器図	16		16		16		16			
B16	防災グッズウォール　什器図	17		17		17		17			
B17	映像システム図/機器姿図-1	18		18		18		18			
B18	映像システム図/機器姿図-2	19		19		19		19			
B19	映像システム図/機器姿図-3	20		20		20		20			
B20	映像システム図/機器姿図-4	21		21		21		21			
B21	映像システム図/機器姿図-5	22		22		22		22			
B22	1Fコンセント配置図	23		23		23		23			
B23	2Fコンセント配置図	24		24		24		24			
B24	分電盤容量計算書	25		25		25		25			
B25	分電盤詳細図	26		26		26		26			
B26	映像コンテンツ-1	27		27		27		27			
B27	映像コンテンツ-2	28		28		28		28			
B28	映像コンテンツ-3	29		29		29		29			
B29	サイン・グラフィック-1	30		30		30		30			
B30	サイン・グラフィック-2	31		31		31		31			
		32		32		32		32			
		33		33		33		33			
		34		34		34		34			
		35		35		35		35			
		36		36		36		36			
		37		37		37		37			
		38		38		38		38			
		39		39		39		39			
		40		40		40		40			
		41		41		41		41			
		42		42		42		42			
		43		43		43		43			
		44		44		44		44			
		45		45		45		45			
		40		40		40		40			
		41		41		41		41			
		42		42		42		42			
		43		43		43		43			
		44		44		44		44			

B	
G00	図面リスト
	安井建築設計事務所

特記仕様書 1

【1】展示対象概要

(1) 名　　称：川越北消防署防災学習展示及び映像コンテンツ作製業務委託
(2) 委託場所：川越市御成町1番ほか
(3) 委託対象部分：1F 約110 ㎡、2F 約50㎡及び上部吹抜の壁面部分
(4) 展示製作範囲
●展示造作（展示壁面、展示什器製作他）
●映像・音響設備設置（AV機器購入・設置調整、システムプログラム他）
●電気・照明設備設置（電気設備・照明器具設置他）
●情報系機器設備（PC機器設置調整他）
●グラフィック製作（パネル印刷・設置調整他）
●グラフィックソフト制作（原稿調整・デザイン・データ作成）
●映像ソフト制作（シナリオ作成・録音・編集・データ作成）

【2】一般共通事項

(1)総　則

1 摘要
・本業務委託については、特記仕様書に基づくものの他、防災学習展示及び映像コンテンツ作製概要書（以下、「作製概要書」という。）の指示及び仕様、展示報告書に基づくものとする。
・図面、及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて埼玉県の各種標準仕様書により製作すること。
・電気設備及び機械設備についてはそれぞれの標準仕様書を適用すること。

2 監督員
・監督員とは、発注者が指定した者とする。

3 疑義
・作製概要書及び特記仕様書、展示報告書の内容について疑義が生じた場合、及び判断しがたい場合は、すべて監督員と受注者が協議して定めるものとする。

4 変更
・目的の変更または現場のおさまり・取合い等による変更（材料、材質、仕上げ、工法、寸法、取付位置等）は監督員の指示によって行うこと。
・作製概要書・特記仕様書の内容に大きく変更を及ぼす場合は、文書により変更を監督員に申請し、承諾を得た上、監督員の変更指示書によって行う。

5 指定
・この特記仕様書に記載される製造所名、製品名、製造番号等については、記載のものと同程度、または同程度以上のものを使用すること。

6 申請
・本業務委託に関する承諾許可、審議を要する事項は、すべて図面及び文書で明確に監督員に提出し、承諾を得た上、監督員の指示書によって行う。
・既存建物の一部を除去、加工等する場合は当該箇所の位置、規模、目的、工法、材料、修復方法等について、同様の手続きをすること。

7 他の工事との調整
・同時期に行われている庁舎新築工事等の作業との調整・連携を図ることとする。

(2)共通事項

1 現場管理
・現場の管理は、労働基準法、労働安全衛生規則、その他関係規則に従い、設置現場の労働者他の出入り監督、風紀衛生の取り締り、並びに火災、盗難等の事故防止について遺漏のないようにする。以上の災害については、引渡し以前においては全て受注者の負担とする。また、場内は常に整理整頓のこと。

2 災害の防止
・関係法規に従い、製作物の設置に伴う災害及び公害の予防措置を事前に講ずる。また工事に伴う災害及び公害の予防措置に関して特記のある場合はそれによる。
　公害の予防措置に関して特記のある場合はそれによる。

　A.設置に伴い第三者に損害を及ぼしたときは、次項に定める場合を除くほか、受注者がその損害を賠償しなければならない。ただし、受注者がその損害のうち発注者の責に帰すべき理由により生じたものについては、発注者がこれを負担する。

　B.設置に伴い通常避けることができない理由により、第三者に損害を生じたときは、発注者がその損害を賠償しなければならない。ただし、その損害のうち設置につき受注者が管理者の注意義務を怠ったことにより生じたものは受注者がこれを負担する。

　C.前2項の場合及びその他製作について、第三者との間に紛争を生じた場合においては、受注者・発注者両者協力して、その処理解決にあたるものとする。

3 養生
・現場の既存建築物等、施工済の設置対象物あるいは未使用材等のうち、汚染または損傷の恐れのあるものについては、適切な方法で養生する。

4 材料
・材料は特記のある場合を除き、作製概要書に定める条件に適合する新品を使用する。また、JIS規格品のある材料は、作製概要書に指定のない限り、規格材を使用する。材料の品質が明記されてない場合は、監督員の指示による。

5 工程表
・着手に先立ち実施工程表を作成し、監督員の承諾を受ける。工程表に変更の必要を生じ、その内容が重要な場合は、変更工程表を遅滞なく作成し、監督員の承諾を受ける。また、上記実施工程表の補足として、監督員の指示により、週間または月間工程表もしくは製作別工程表等を作成し提出する。

6 施工図
・設置に先立ち、施工図は必要に応じて遅滞なく監督員に提出し、承諾を受ける。

7 見本品
・設置に先立ち、監督員との協議において見本品が必要とされたものについては見本品を作製し、監督員の承諾を受ける。

8 搬入の報告
・搬入ごとに、その搬入品が作製概要書に定められた条件に適合することを確認し、必要に応じ、証明となる資料を添えて、監督員に文書で速やかに報告する。ただし、軽易な機材については、監督員の承諾を受けて、報告を省略することができる。

9 中間検査
・設置にあたり、受注者は必要に応じて社内検査を行い、その結果と処理を監督員に報告し承諾を受ける。また、監督員が必要を認めた場合、受注者の責任者の立ち会いの上、中間検査を行う。

10 試運転調整
・試運転調整の必要なものについては試運転調整を行い、その結果を文書で監督員に報告する。試験に直接必要な費用は受注者の負担とする。

11 現場事務所
・詰所、工作小屋、材料置場などの必要な仮設物を設ける場合は、設置位置その他について、発注者の承諾を受ける。その費用はすべて受注者の負担とする。

12 電源･用水等
・現場事務所及び現場作業に要する上下水道費用については協議の上負担割合を決定する。

13 記録
・設置の全般的な経過を記載した文書を、原則として毎週作成し、監督員に提出する。
・監督員が指示した事項または監督員と協議した事項について記録し、監督員に提出する。ただし、軽易な事項については、監督員の承諾を受けて、省略することができる。

14 完成検査
・委託完了時点において、受注者は速やかに委託完了通知を提出して、発注者の完了検査を受ける。万一、不備もしくは不良の事項のある場合は、監督者の指示に基づき発注者の承諾を受け、直ちに取り換え、または補修を行って完全なものとし、引き渡し期日までに再検査を受ける。

15 後片付け
・設置完了に際して受注者は、場内外及びその関連する部分の後片付け及び清掃を入念に行う。

16 官公署等への届け出の手続
・設置に必要な関係官公署への手続きは速やかに行う。これらの手続に要する費用は受注者の負担とする。

17 鍵の引き渡し
・現場設置が完了したときは、鍵の照合を行い、鍵を監督員に提出する。

18 提出書類
・受注者は、契約書及び仕様書を確認の上、下記に定める書類を作成し、 その都度監督員に報告提出する。
　a. 作業日報
　b. 各設備機器取り扱い説明書
　c. 各設備機器の保守に関する説明書
　d. その他監督者と協議のうえ必要とされた書類
　e. 電子媒体

19 完成写真
・受注者は、設置完了後に写真撮影を行い、監督員指示により、カラー写真を写真帳に整理して監督員に2部を提出する。

20 作業写真
・作業写真を撮影し、監督員が閲覧できるよう整理・編集するとともに、工事完了時に写真帳として、提出する。
・提出された写真の所有権は発注者に帰属する。

21 完成図
・設置が完成した時点で、その完成に基づき完成図を作成し、製本して監督員に必要部数提出する。

22 保証
・委託完了後受注者は展示委託に関わる保証の責任を負う。引渡後、契約書に明記された瑕疵担保期間中に設置不良、またはこれらの理由により生じたと認められる損傷・不具合は監督員の指示により迅速に修理する。これに必要な費用については、受注者が負担する。

23 環境関係法の遵守と建設廃棄物処理
・現場設置にあたっては、環境関係法を遵守する。
・現場設置において発生した産業廃棄物の収集運搬及び処分については、廃棄物の処理及び清掃に関する法規に従い適正に行なうものとする。

24 資料の取り扱い
・受注者は本業務委託に際し自ら収集しあるいは監督員が支給した資料については目的外の用途に供しない。また受注者は監督員より借用した資料を目的を達した後速やかに返却する。受注者が監督員より借用した資料については、その返却まで受注者の責任で取り扱う。

25 色見本
・展示物に使用する塗装色について、受注者はあらかじめ見本を監督者に提出し、承諾を得るものとする。

26 展示物設置における消防に関する協議について
・展示物の設置における消防法規（避難誘導灯の設置など）に準拠しなければならない事項が発生もしくは発生の恐れがある場合は、設計内容をもとに、監督員の指示を仰ぎ、所轄する消防担当者などと協議のうえ、設置を行う。

27 著作権等について
・本業務の成果品及び業務履行に伴い生じた知的財産の帰属は、発注者又は第三者が従前から保有していた著作物の著作権を除き、著作権法（昭和45年法律第48号）の定めに従う。
・本業務に当たっては第三者の権利を侵害しないように十分留意すること。やむを得ず第三者が有する著作権の映像、意匠、ソフトなどを使用するときは、あらかじめ発注者と協議の上、著作権法上に定められた手続きを行うこと。その際の費用は受注者が負担する。
・受注者は、以下に規定する用途の場合、発注者が成果品等を自由に使用できるよう、著作者等の許諾を得なければならない。
　a. 川越北消防署内での展示及び上映。
　b. 川越北消防署の運営及び宣伝紹介等の目的（以下、本目的という。）で発行する広報媒体（SNS等自由に拡散される媒体については別途協議）での使用。
　c. 研究会、講演会、論文等での報告・発表。
　d. 本目的のため、第三者が発行する情報誌等への掲載。
　e. 本目的のため、必要に応じた他言語への翻訳。
　f. その他、双方協議の上、必要と認める利用方法。
・前項に規定する範囲内の使用であるにも関わらず、著作者及び第三者から権利の主張、異議、苦情、対価の請求、損害賠償などがなされた場合、受注者の責任と負担の下でこれに対処、解決するものとし、発注者に一切の責任と負担を負わせないものとする。

28 疑義等について
・本特記仕様書に定めのないものについては双方協議の上、決定する。

【3】構成別特記事項

1展示製作

展示製作とは、資料を展示するために必要な造作・設備類を言い、作製概要書に示された寸法、仕様、位置及び本特記仕様にもとづいて製作される一般造作、展示ケース、展示台等、映像・音響設備、電気・照明設備、グラフィック・サインが含まれる。

原則として一般造作、展示ケースについては建築工事仕様及び各法令規に準ずるものとするが、設置にあたっては作製概要書及び本特記仕様書に基づき監督員と充分な検討を行い、施工図を作成し、監督員の承諾を得て製作しなければならない。

2一般造作

（1）総則
・本工事における展示造作は、建築躯体に接する床、壁、天井及び、パネル造作等を示すものとする。これらは原則として建築工事仕様及び各法令規に準ずるものとし、施工図を作成し監督員の承諾を受けた後、設置を行うものとする。
・同造作は、部材が大型の場合がある為、これらの搬入、組立、設置、仕上げに関しては、細心の注意を配り安全確認を取らなければならない。
・同造作の内、特に建築躯体をハツリ及び、孔あけ等しなければならない場合は目的、造作範囲、位置等を図面、文書にて監督員に提出し、許可を求めなければならない。また、その他の建築仕上り部分に関しても同様の作業を行った場合には、原形に復旧すること。

（2）鉄骨
a. 溶接作業
・溶接作業において、作業が現場で行われる場合は、事前に監督員に期日、作業場所、作業部の箇所等を文書でもって提出し、承諾を得た上で実施するものとする。尚、作業に際し、周囲の関連作業の進歩状況を十分把握し、完成箇所への損傷、火災等に十分配慮しなければならない。万が一、問題が生じることがあった場合は、速やかに監督員に連絡し、監督員の指示に従うものとする。
・溶接に先立ち、母材の溶接面は、スラグ・水分・ごみ・さび・油・塗料、その他溶接に支障となるものは除去すること。
・溶接の仕上り寸法は、設計寸法を下まわってはならない。設計寸法を多少超過することはさしつかえないが、過度の盛り、または表面形状が著しく不規則であってはならない。
・溶接検査において発見された不具合な箇所は、適切な方法で修正する。ただし接合部の性能または構造物全体に影響を与える方法で補修または補強する場合には監督員と協議するものとする。

b. アンカーボルトのすえ付け
・アンカーボルトは、すえ付けから設置完成までの期間に、さび、曲り、ねじ部の打跡等有害な損傷が生じないよう適切な養生をする。
・ベースプレートとその下面のモルタルは、十分密着するようにする。
・アンカーボルトは、必要な引抜き及び剪断強度に応じ、ケミカルアンカーボルト、金属拡張型アンカーボルトとする。

c. さび止め塗装
・素地ごしらえは、汚れ付着物の除去、油類の除去、錆落し、化成皮膜の処理を充分行うこと。
・塗装は素地ごしらえの後、速やかに行われなければならない。
・塗装作業は、塗装に適した環境のもとで行い、均一な塗膜が得られるように施工すること。
　※塗装については後述する。

d. 仕上げ塗装
・鉄骨作業において仕上げ塗装を必要とする部分については、原則としてSOP塗装とする。それ以外のものについては作製概要書、又は監督員の指示による。
・塗装においては事前に色見本として同一素材の同一仕様による仕上げで監督員に提出し、承諾を得た上で実施するものとする。
・塗布面は、均一状態で平滑面を保持し、色むら、仕上げむらのないようにし、また褐色、変色、剥離が生じないよう施工すること。
　※塗装については後述する。

（3）木工
a. 材料
＜木材＞
・木材は十分乾燥したもので、「木材の日本農林規格」によるJASマーク、または格付証明書のあるものとする。
・化粧材の樹種は作製概要書による。
・下地材は特記無き限り梱材（1等）とする。ラワン材は使用しない。

B	特記仕様書1	A1= NON A3= NON	最終版 ****.**.**
01			見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

特記仕様書　2

＜合板＞
・合板の規格は特記がなければ「普通合板の日本農林規格」によるJASマークの表示のあるものとする。
・合板は低ホルマリン合板（JAS　F4☆）とする。
＜接着剤＞
・接着剤は特記がなければ標準仕様書による。

b. 製作方法
・展示造作等の種類・材質・形状・寸法などは作製概要書による。取付、または据付は、現場施工あるいは工場製作となる。搬入後納まりなどについては、正確を期すること。

c. クロス貼り仕上げ
・クロスの材料は、防災分類第１級の織物壁紙を使用する。接着剤は、酢酸ビニール系エマルジョン形とJISA6922（壁紙施工用でんぷん粉系接着剤）を混合したものとする。施工に際しては接着面を均一にし、空気の混入などがないようにしなければならない。
・クロスは非ホルマリンのりを使用する。

（4）硝子
a. 材料
・材料については作製概要書による。特に記入のないものについては、フロート板ガラスとする。
・展示室の新規製作ケースのガラスは、飛散防止フィルム貼りとする。

b. 一般工法
・硝子の切断面は磨き加工して成形する。硝子の取付に際し、硝子の下部に硬質ゴム等のクッション材を置き、また、シリコンコーキングを施す前に硝子の左右に発泡ポリエチレン材などのバックアップ材を用いる。
・シーリング材はJIS5758の規格品とする。ガラス+ガラスは、シリコンシーリング材（SR-1）、ガラス+金属は、シリコンシーリング材（SR-1)とする。
・板ガラスの品種、板厚、寸法、使用場所は作製概要書による。取扱は吸盤使用を原則とし、十分慎重に行う。特に硝子縁部に損傷を与えぬ様に注意すること。

（5）塗装

a. 一般事項
・上塗用の塗料は原則として指定された色及び艶を製造所にて調合する。ただし少量の場合は同一製造業者の塗料を用いて、現場調色とすることが出来る。
・塗料は原則として、メーカー調合された塗料を使用し、そのまま製作現場に搬入する。ただし素地面の粗密、吸収性の大小、気温の高低などに応じて塗装に適するように調整することができる。
・塗装面、その周辺床などに汚染、損傷を与えないように注意し、必要に応じてあらかじめ塗装箇所及びその周辺に適切な養生をする。
・仕上げの色合いは見本帳または見本塗装板を監督員に提出し承諾を受ける。
・工場塗装を行ったものは、現場搬入後に損傷のある箇所を直ちに補修する。
・着色剤の塗布後、色むらのある場合は、むら直しを行い調色する。

b. 塗装の種類
・スチールは、特記無き限りSOP塗装とする。
・木工（展示台・ステージ等）は、染色仕上げを行う場合、ラッカー系またはアクリル系染色塗装の後、クリヤラッカー塗装仕上げとし、それ以外の部分についてはラッカー吹き付け塗装仕上げを原則とする。
・石膏ボード(PB)が仕上げ面として露出する部分については、合成樹脂エマルジョンペイント塗布　(EP)とする。

c. 塗り工法
・塗料は使用直前によくかき混ぜ、必要に応じて、こしわけを行う。
・塗り方は、はけ塗りの場合ははけを用いはけ目を正しく一様に塗る。スプレーガン塗装の場合は　塗装用のスプレーガンを用い、ガンの種類、口径及び空気圧は用いる塗料の性状に応じて適切なものを選び、吹きむらのないよう一様に塗る。ローラーブラシ塗りの場合はローラーブラシを用い、隅、ちり回り等は小はけ又は専用ローラーを用い、全面が均一になるように塗る。

d. さび止め塗装
・一般錆止めペイント、JIS K5625　2種
・1回目の錆止め塗料塗りは加工工場において組立後に行う。ただし、組立後、塗装困難となる部分は、組立て前に錆止め塗料を2回塗る。2回目の錆止め塗料塗りは、製作現場において溶接などの箇所は付着物を除去し、補修塗りの後に行う。
・密閉される閉鎖型断面の内部、塗装することが適当でない箇所は塗装しない。

e. 仕上げ塗装
・塗装においては、事前に色見本として同一素材の同一仕様による仕上で監督員に提出し、承諾を得た上で実施するものとする。
・塗布面は、均一状態で平滑面を保持し、色むら、仕上げむらがないようにし、褐色、変色、剥離が生じないよう施工する。

３ 模型・装置・造形制作
(1)総　則
・模型・複製制作とは、展示資料として入手困難あるいは不可能なものおよび、その展示意図・内容が模型等以外の手法では表現できない展示資料を調査・監修により明らかにし、その成果として製作されるものを指す。
・特に模型制作は内容の最終決定までに変更・追加等の可能性が高い。したがってその製作にあたっては監督員と十分な協議のうえ、予算の範囲内で変更・追加を行う。

(2)調査
・模型・ジオラマ・装置模型制作にあたっては、設計趣旨並びに監督員の意向を十分に理解し、製作前に必要な資料の収集・調査を行い、監督員の承認を受け製作する。

(3)監修
・模型製作における学術監修は、監督員の責任に帰する。但し発注者側から別途監修者を立てたいという意向があった場合には、監修者の監修のもと製作図を作成し、監修者の承諾を受ける。

(4)材料
・模型材料は、模型の意図、寸法、縮尺率、設置場所等の条件によって異なる。しかしいずれの場合も長期的に安定した材料を使用し、褪色、剥離、ひび割れ等のおこらないよう配慮しなければならない。

(5)検査
・検査は全体工程の中で各部分の製作段階の必要な時点を決め、あらかじめ検査の対象、進行程度、日時、場所等を文書により提出し監督員の承諾を受ける。

(6)運搬・搬入
・運搬に際して、各部の破損が生じないよう必要な養生、梱包を行い、当該製作物の運搬に十分経験のある業者により運搬・搬入する。

(7)設置
・展示室設置は指定された場所に設置し、破損等のチェックを行ったのち、完成検査を受ける。
・装置類については検査前に十分試運転調整を行い、不具合を修正したのち、完成検査を受ける。

４ 映像・音響設備設置

(1)総　則
・映像・音響設備とは、映像・音響を放映する設備およびパソコン等の情報検索設備を指す。
・AV・PC機器は市場が流動的で、設計段階での機材選択が必ずしも供用開始時に最適の選択とならない場合がある。従ってAV機器の選択は、予算の範囲内で監督員と調整の上、購入時点における最適の機種選択を行うこととする。

５ 電気照明設備

(1)総　則
・電気照明設備において使用する照明器具等は、設計図に記載のある型番または同程度以上とし、所定の性能が保証されたものの中から選び、監督員の承諾を得たうえで設置する。

(2)位置指定
・天井配線ダクト及び展示用コンセントの設置位置は、製作図段階において建築施工者と調整の上、位置の指定を行う。

(3)特注
・調光盤等特注品化の必要のあるものについては、監督員と十分な打ち合わせを行い仕様を決定する。

(4)設置
・照明器具の設置は受注者側にて行い、監督員の指示により配置、調光具合等を調整する。

(5)移設
・建築分電盤から使用している展示配線関係はすべて展示分電盤からの配線へ変更・集約する。

６　グラフィック制作
(1)総則
・グラフィック制作とは、当施設において展示意図、資料の解説および施設の案内をおこなうために用意されるパネル、ネームプレート、解説書、写真、印刷物等を指す。
・グラフィック制作は内容の最終決定までに変更・追加等の可能性が高い。したがってその制作にあたっては監督員と十分な協議のうえ、予算の範囲内で変更・追加を行う。

(2)原稿支給
・グラフィック制作に係る文字、図版、イラスト、写真等の原稿資料の内、以下のものは発注者との協議により支給者を決定する。
　a. 解説原稿
　b. 資料名称等資料に係わる情報一式
　c. グラフィック制作に係わる元資料（図版原稿、イラストを描く際の参考資料等）

(3)写真支給
・グラフィック制作に係る写真資料の収集及びイメージ写真等は受注者が用意する。

(4)原版・原画・写真の借用
・グラフィック制作に必要となる原版・原画のうち借用を要するものについては、その所在確認、借用手続き、使用料の支払い等は、基本的には受注者が行うものとするが、資料の性格などにより、発注者・受注者で協議し、行うものとする。

(5)校正・承認
・グラフィックデザインの承認については版下指定図を作成し、監督員の校了を得たのち制作する。
・グラフィックの校正は原則として第2稿を決定稿とする。その際、決定稿であることを確認すること。

(6)素材・加工
・当施設におけるグラフィックパネルは、展示替えが用意に出来る事を重視し制作をする。データ出カラミネート加工、ベースはゲータホームを原則とする。

(7)設置
・グラフィックの設置は受託者が行う。

７ 映像・音響ソフト制作

(1)総　則
・映像ソフト制作とは、映像・音響を放映する設備にて放映する映像・音響番組を指す。

(2)原稿支給
・映像ソフト制作に係る文字、図版、イラスト、写真等の原稿資料は、発注者及び受注者の協議により支給者を決定する。
・環境音響の音源は、受注者が用意し、監督員の了解を得て使用する。
・映像ソフト制作は内容の最終決定までに変更・追加等の可能性が高い。したがってその制作にあたっては監督員と十分な協議のうえ、予算の範囲内で変更・追加を行う。

(3)写真支給
・映像ソフト制作に係る写真資料の収集は受注者が行うことを基本とする。
・写真の支給形態は、引き伸ばし限界を考慮したデータ支給とする。但しデータ精度によって不具合が生じる場合を考慮して、ネガあるいはポジの支給を求めることも可能とする。

(4)原版・原画・写真の借用
・映像ソフト制作に必要となる原版・原画のうち借用を要するものについては、その所在確認、借用手続き、使用料の支払い等は、受注者が行うものとする。

(5)校正・承認
・映像シナリオの承認については絵コンテを作成し、監督員の校了を得たのち制作する。
・絵コンテの校正は原則として第2稿を決定稿とする。その際、決定稿であることを確認すること。

(6)ロケハン・ロケ
・ロケハン・ロケの場所設定、撮影交渉、許可申請は、撮影場所や交渉場所の性質により、監督員と受注者が協議の上、行うものとする。
・天候不順等の影響により十分な撮影ができなかった場合は、監督員との協議により再撮影、代替素材の使用等々の対応策を検討し、予算の範囲内で変更・追加を行う。
・ロケハン・ロケには原則として監督員が立ち会う。監督員の交通費等の経費については、発注者が負担する。

(7)編集・MA
・編集・MAには原則として監督員が立ち会う。
・ナレーターの選定は候補者のリスト及びナレーションサンプルを提示し、監督員の承諾を受ける。

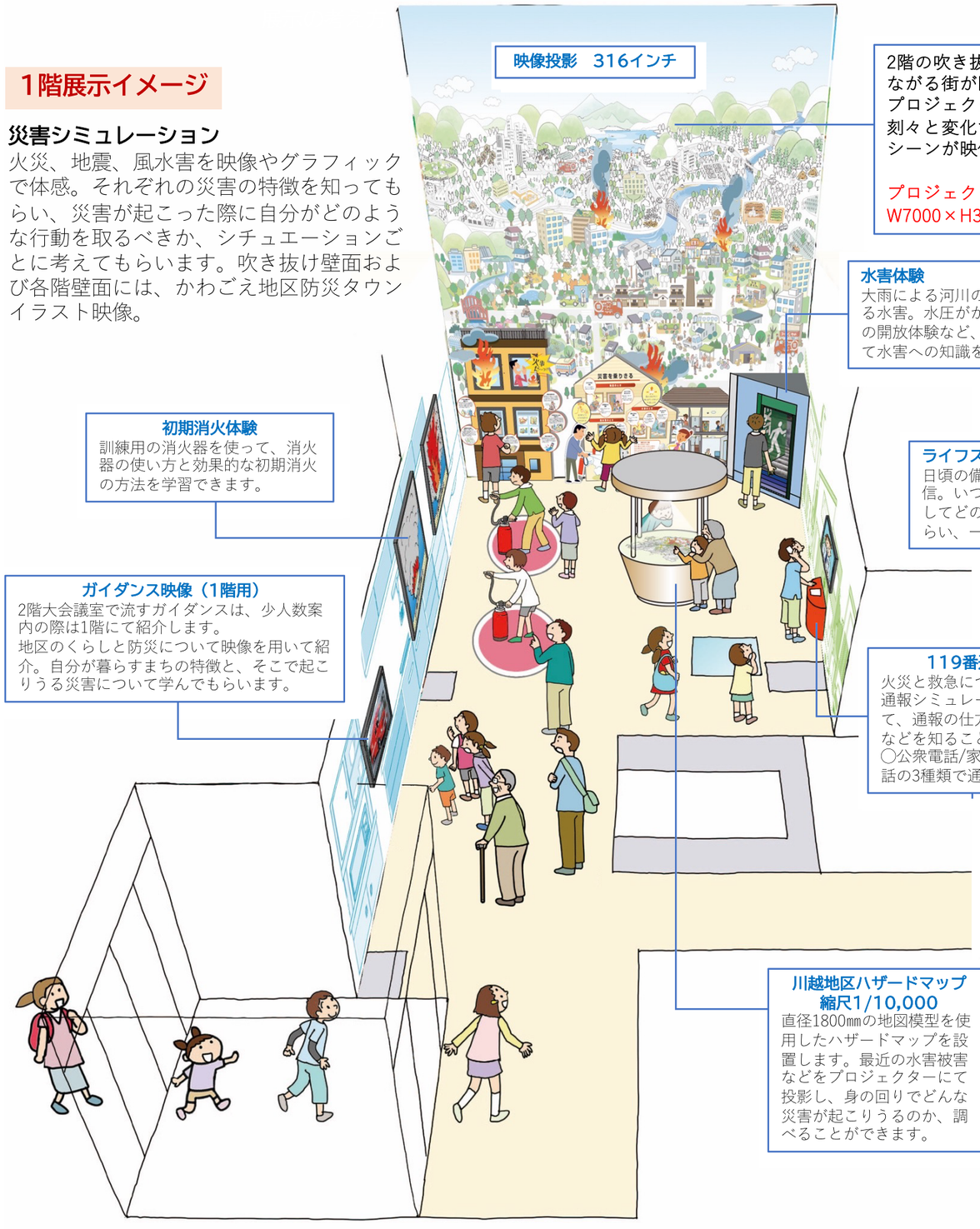
B	A1＝ NON	最終版	****.**.**
02	特記仕様書2 A3＝ NON	見積版	****.**.**
	安井建築設計事務所	最終契約版	****.**.**

防災学習体験ストーリー

町を巡りながら災害の特徴を知り、防災への備え、災害時の防災力を高める体験！

1階展示イメージ

災害シミュレーション
火災、地震、風水害を映像やグラフィックで体感。それぞれの災害の特徴を知ってもらい、災害が起こった際に自分がどのような行動を取るべきか、シチュエーションごとに考えてもらいます。吹き抜け壁面および各階壁面には、かわごえ地区防災タウンイラスト映像。



2階の吹き抜けからは、1階から2階につながる街が眺望できます。
プロジェクターにて街の映像を投影し、刻々と変化する街とともに自然災害のシーンが映像にて変化します。

プロジェクター映像サイズ
W7000×H3900 約316インチ相当

水害体験
大雨による河川の氾濫などで起こる水害。水圧がかかっているドアの開放体験など、模擬体験を通して水害への知識を深められる。

初期消火体験
訓練用の消火器を使って、消火器の使い方と効果的な初期消火の方法を学習できます。

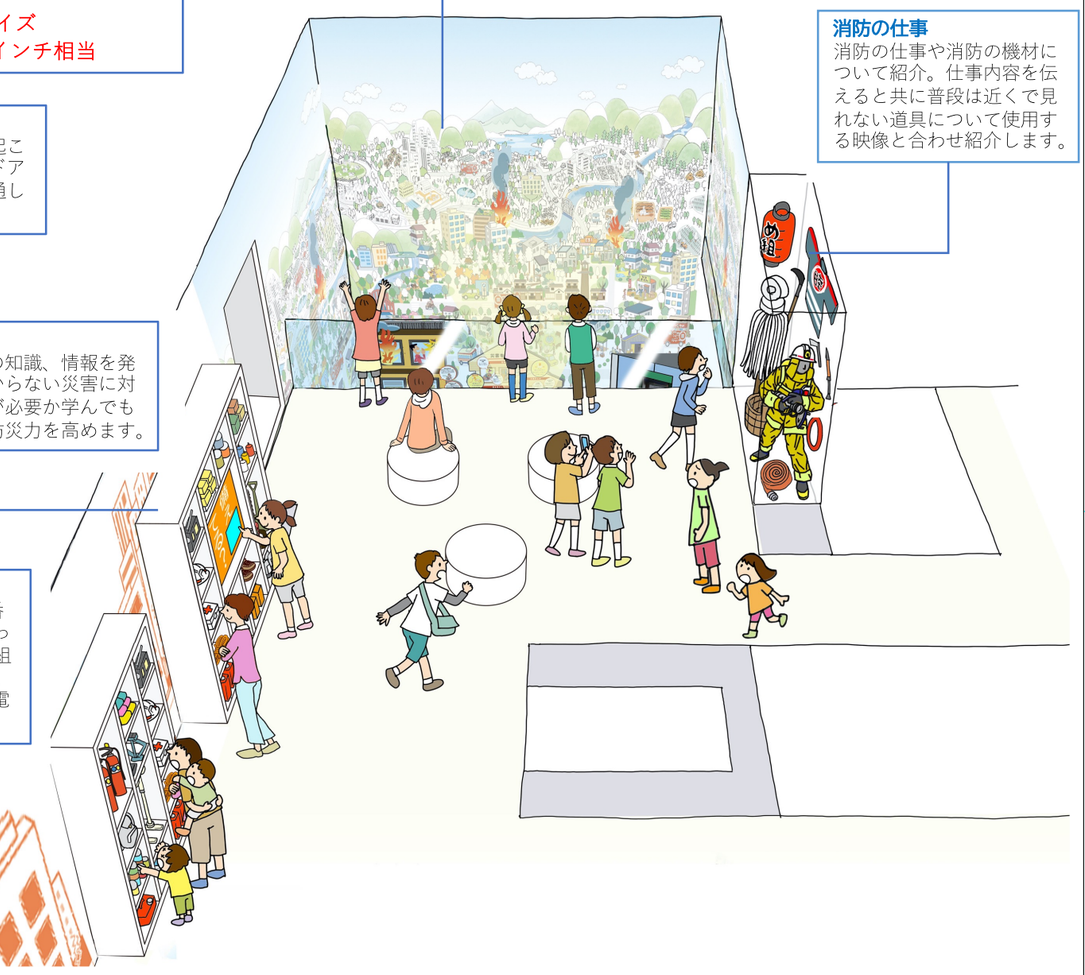
ガイダンス映像（1階用）
2階大会議室で流すガイダンスは、少人数案内の際は1階にて紹介します。
地区のくらしと防災について映像を用いて紹介。自分が暮らすまちの特徴と、そこで起こりうる災害について学んでもらいます。

ライフスタジオ
日頃の備えについての知識、情報を発信。いつ起きるか分からない災害に対してどのような備えが必要か学んでもらい、一人ひとりの防災力を高めます。

119番通報体験
火災と救急についての119番通報シミュレーションを使って、通報の仕方、通報の仕組などを知ることができます。
〇公衆電話/家庭電話/携帯電話の3種類で通報体験

川越地区ハザードマップ
縮尺1/10,000
直径1800㎜の地図模型を使用したハザードマップを設置します。最近の水害被害などをプロジェクターにて投影し、身の回りでどんな災害が起こりうるのか、調べることができます。

2階展示イメージ



消防の仕事
消防の仕事や消防の機材について紹介。仕事内容を伝えると共に普段は近くで見れない道具について使用する映像と合わせ紹介します。

B	A1=NON A3=NON	最終版	****.**.**
03	展示ストーリー	見積版	****.**.**
	安井建築設計事務所	最終契約版	****.**.**

000-ATH1.dwg　2020713

Y4 Y3 Y2 Y1

X3 X2 X1 X0

仮眠室 仮眠室 仮眠室 仮眠室 仮眠室

リネン

トイレ

オイルポンプ室

消火ポンプ室

仮眠室 仮眠室 仮眠室

PS1

EPS1

EV

上部ランマ（ガラス）

消防課

協議スペース

受付

消防署長室

会議室兼訓練室

風除室

1197.5

水害体験

プロジェクター映像：
W7000×H5900

ハザードマップ

タッチパネルモニター

4000

119番通報体験

ガラス床

プロジェクター

壁面塗装

2530

かわごえ防災
タウンイラスト

A

B

C

D

2140

ハザードマップ模型1800Φ
上部プロジェクター

消火器 消火器

1750

4250

初期消火体験

モニター モニター

650

1279

ガイダンス映像

900

階段 1

消火栓
（スケルトンタイプ）

7800

7800

250

3600

GL+600

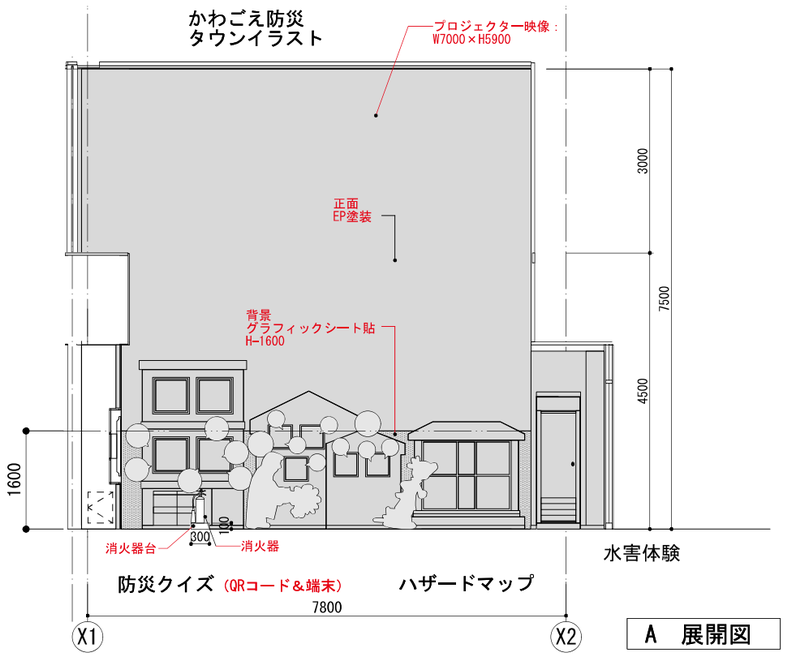
250 10200 8100 10800

1F　平面図

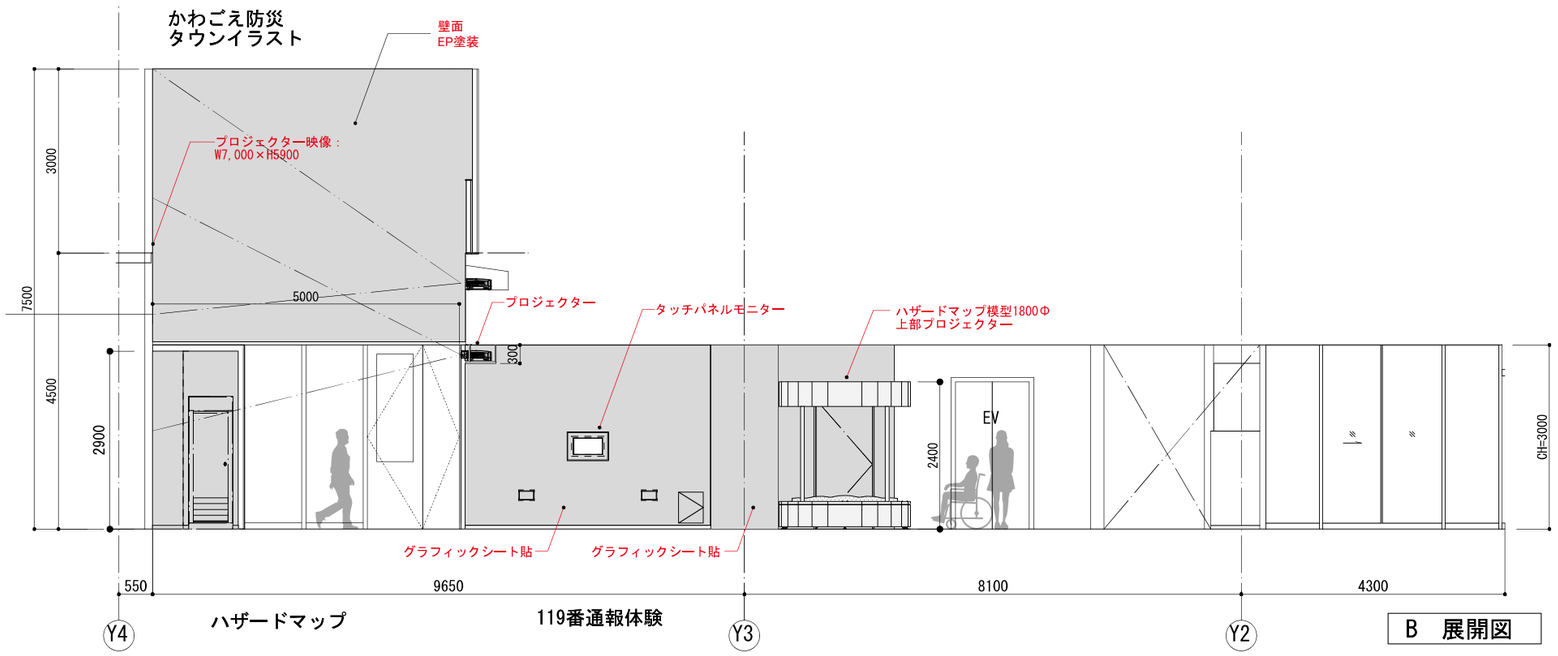
箇所および赤字表記が展示委託対象物

B		A1=	最終版 ****.**.**
04	1F平面図	A3= 1:100	見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

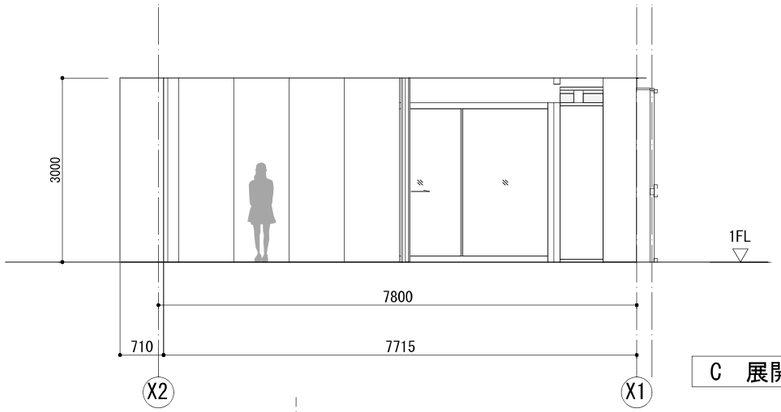
000-ATH1.dwg　2020713



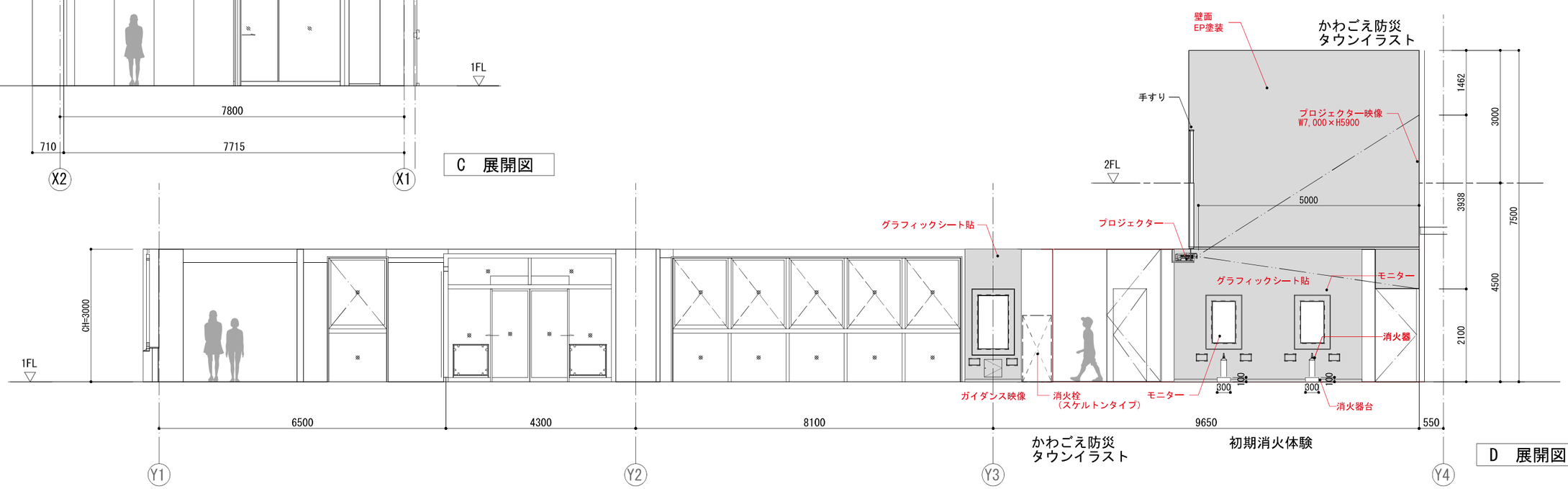
A　展開図



B　展開図



C　展開図

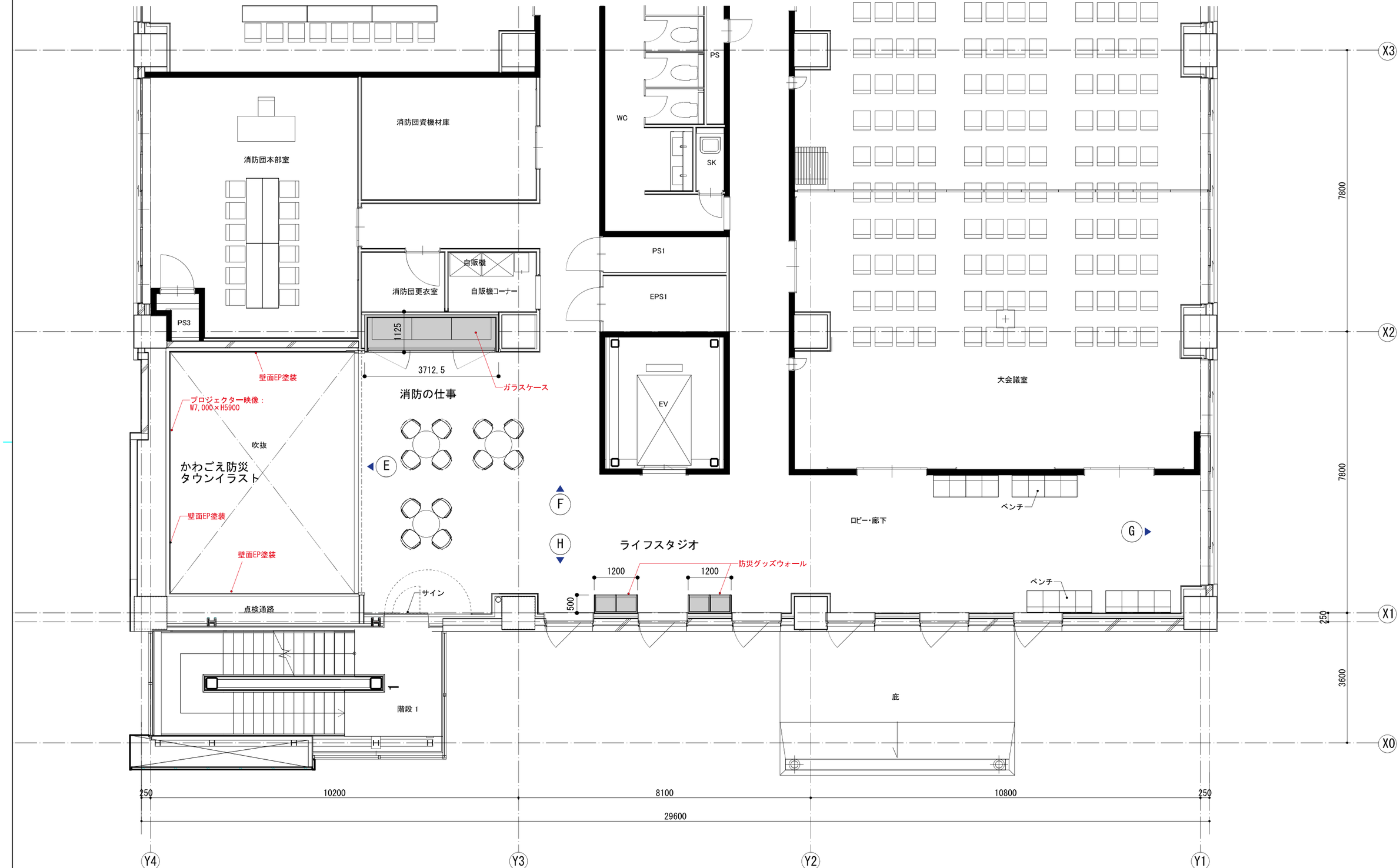


D　展開図

箇所および赤字表記が展示委託対象物

B	1F展開図	A1= A3= 1:100	最終版 ****.**.**
05			見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

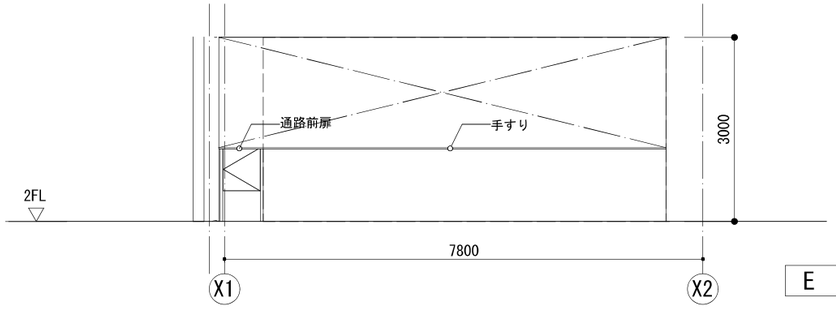
000-ATH1.dwg　2020713



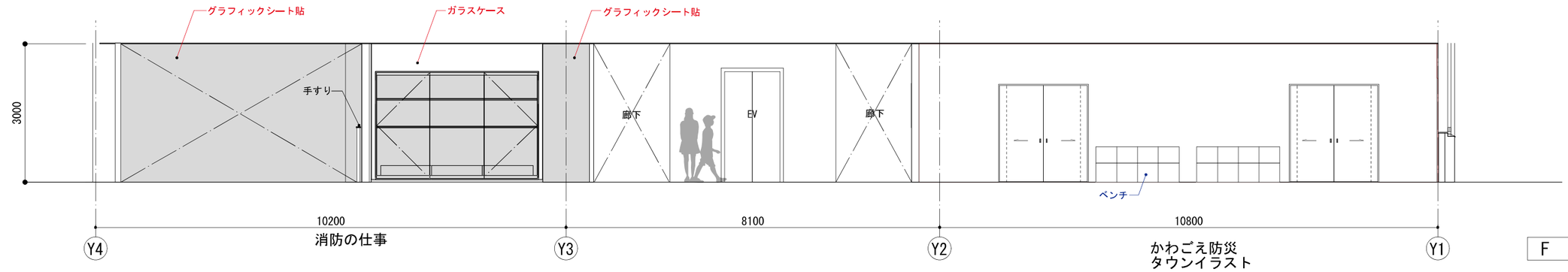
箇所および赤字表記が展示工事対象物

B	2F平面図	A1= A3= 1:100	最終版 ****.**.**
06			見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

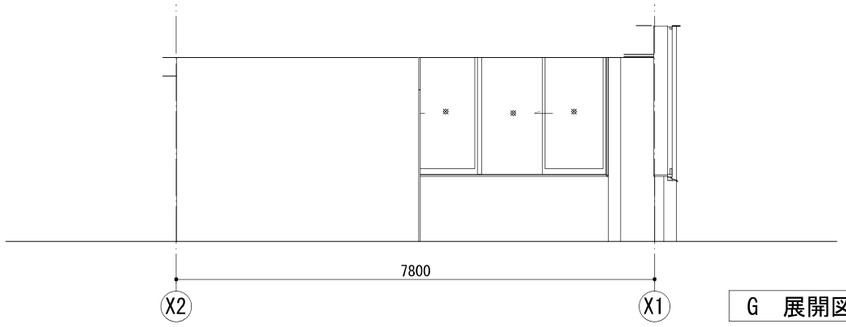
000-ATH1.dwg 2020713



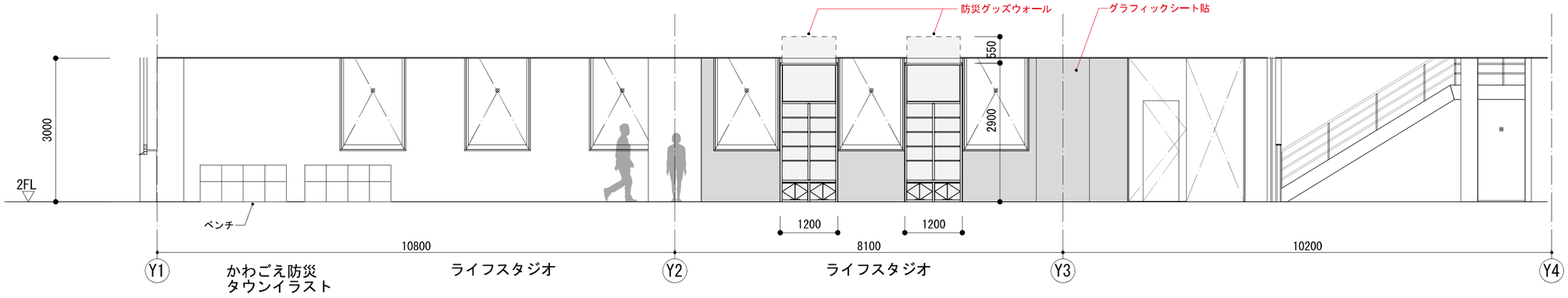
E　展開図



F　展開図



G　展開図

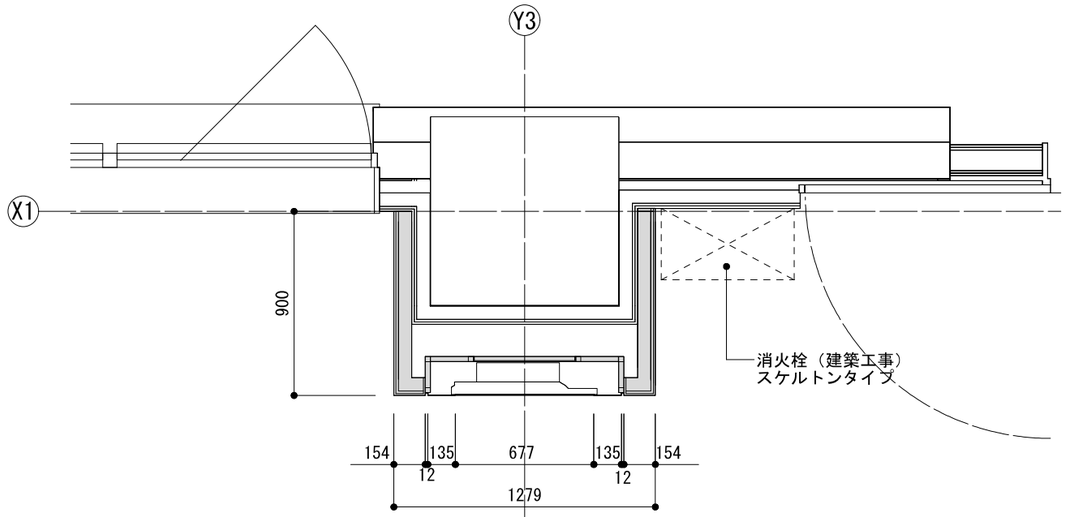


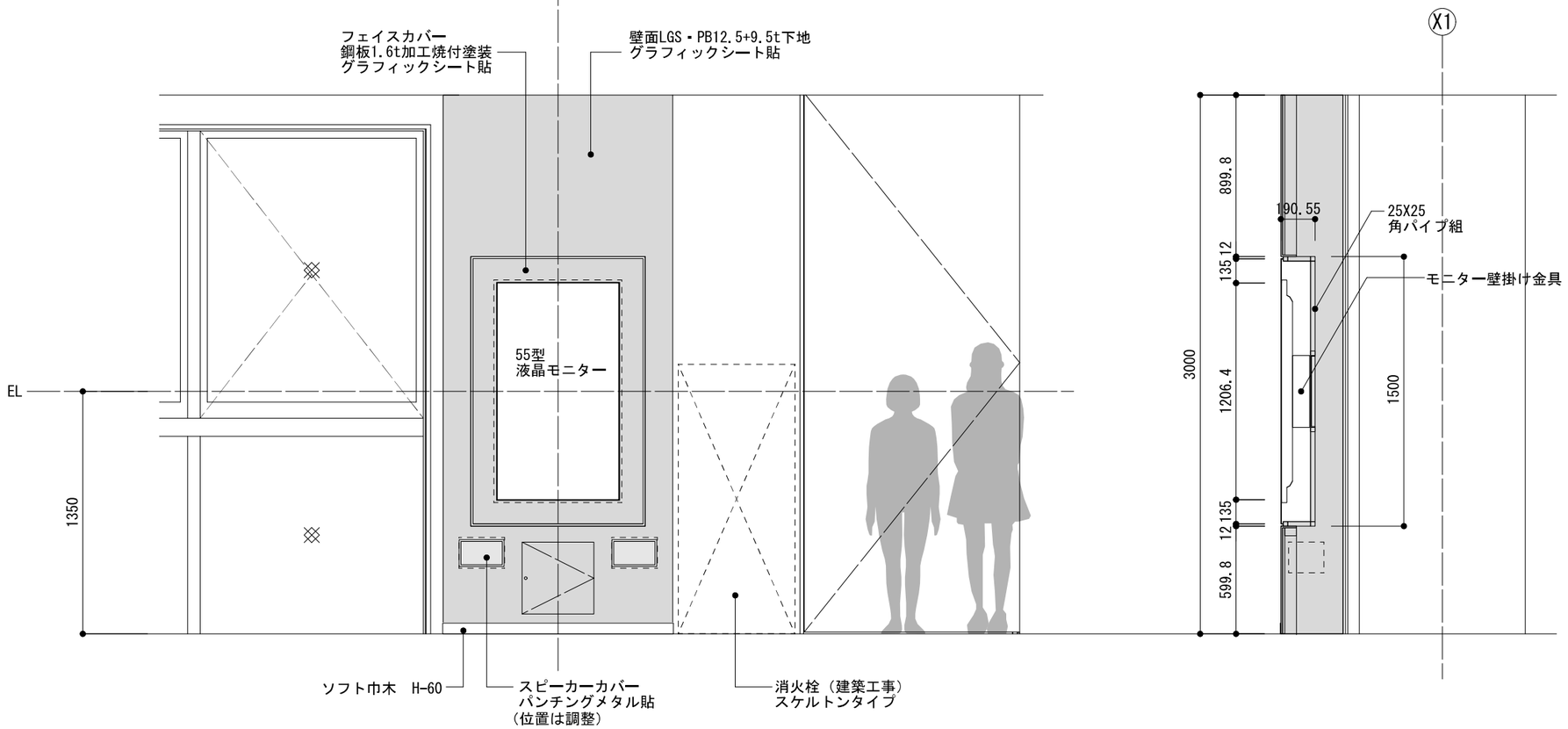
H　展開図

箇所および赤字表記が展示工事対象物

B		A1=	最終版 ****.**.**
07	2F展開図	A3= 1:100	見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

000-ATH1.dwg　2020713

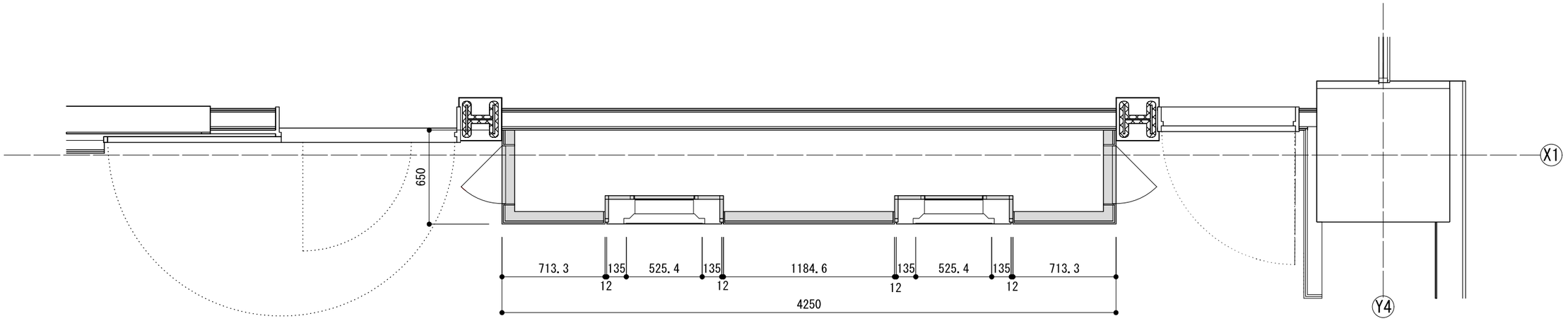


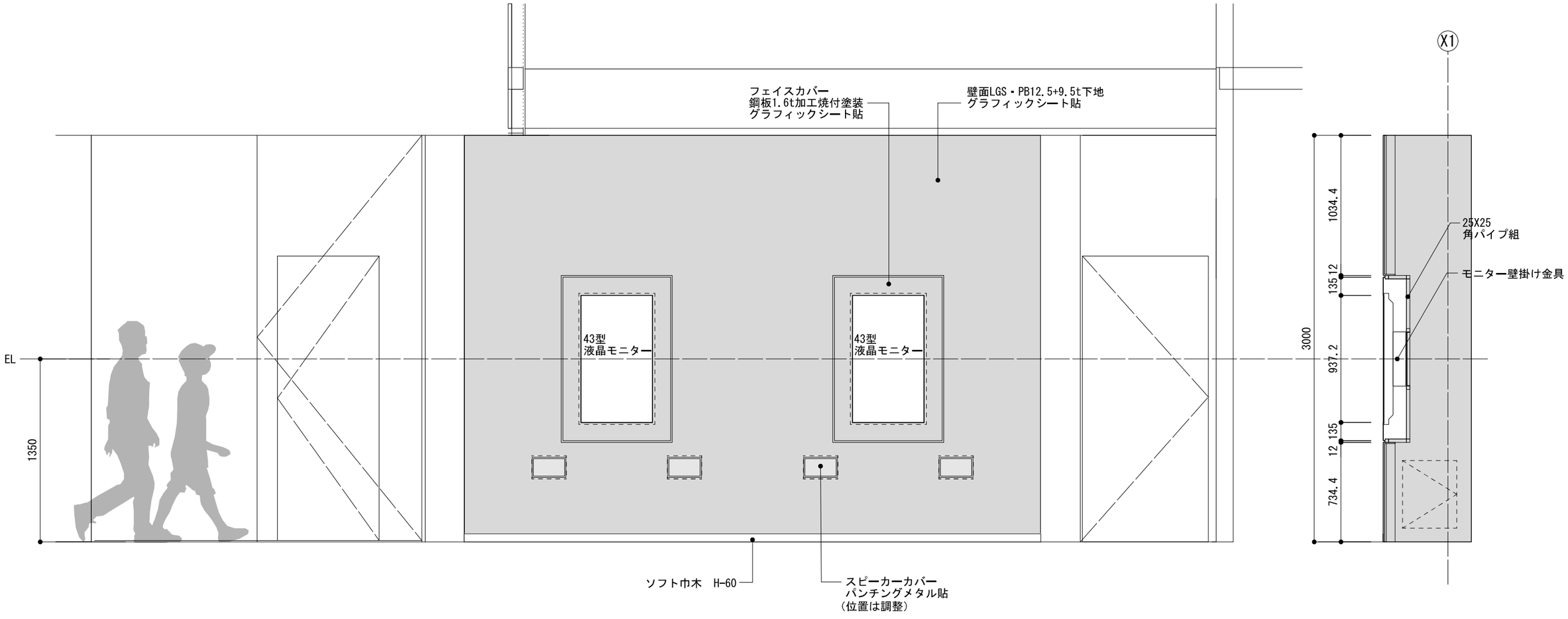


箇所および赤字表記が展示委託対象物

B	ガイダンス映像	A1=	最終版 ****.**.**
08	什器図	A3= 1：30	見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

000-ATH1.dwg　2020713



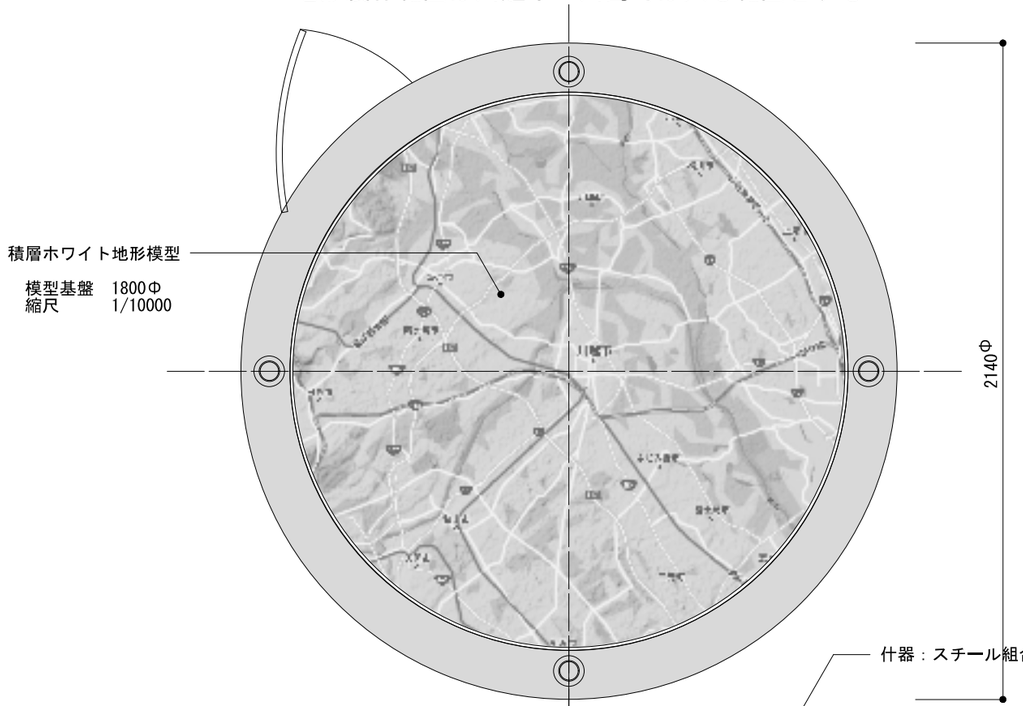


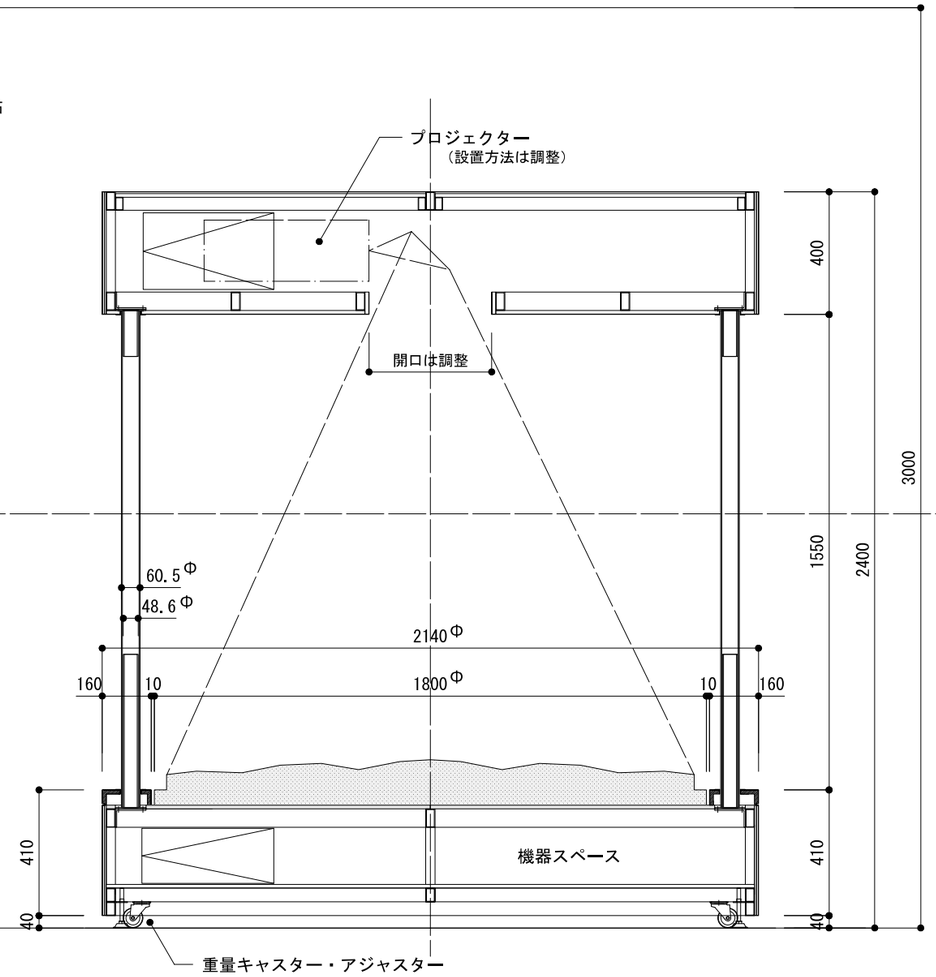
箇所が展示委託対象物

B	初期消火体験	A1=	最終版 ****.**.**
09	什器図	A3= 1：30	見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

000-ATH1.dwg　2020713

地形製作範囲は川越市・川島町は入る範囲とする

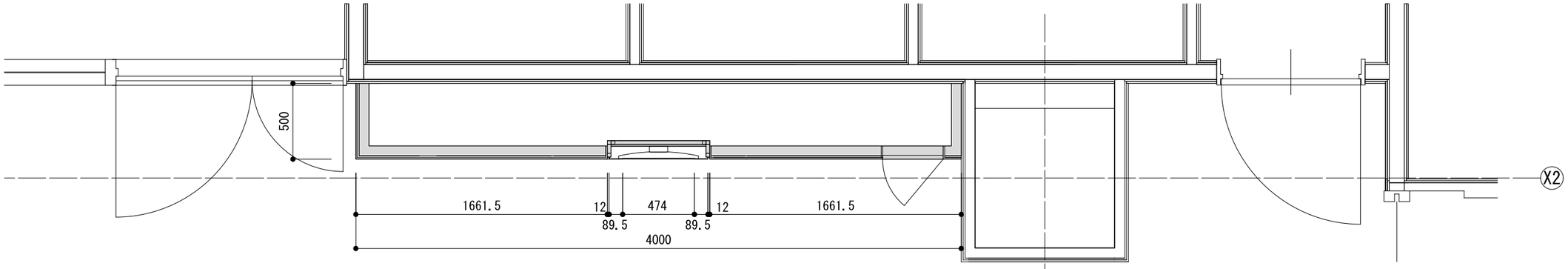


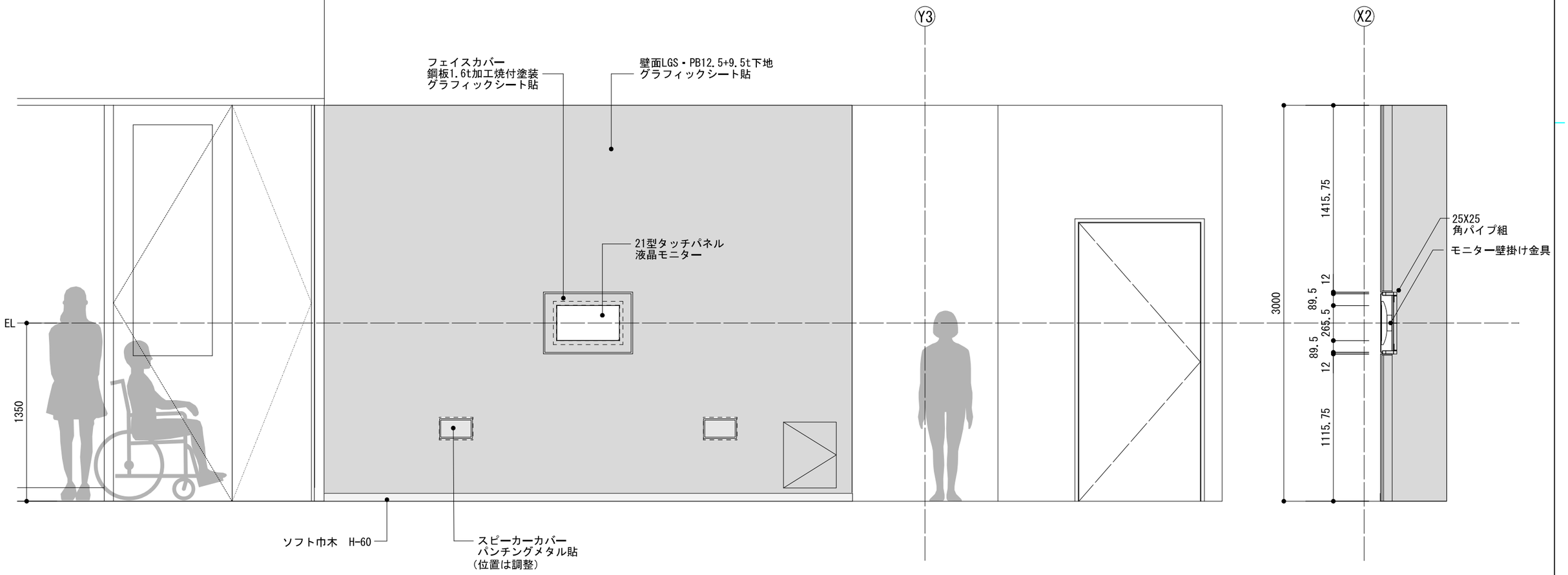


箇所が展示委託対象物

B	川越地区ハザードマップ　A1= A3= 1：20	最終版 ****.**.**
11	什器図	見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所	最終契約版 ****.**.**

000-ATH1.dwg　2020713

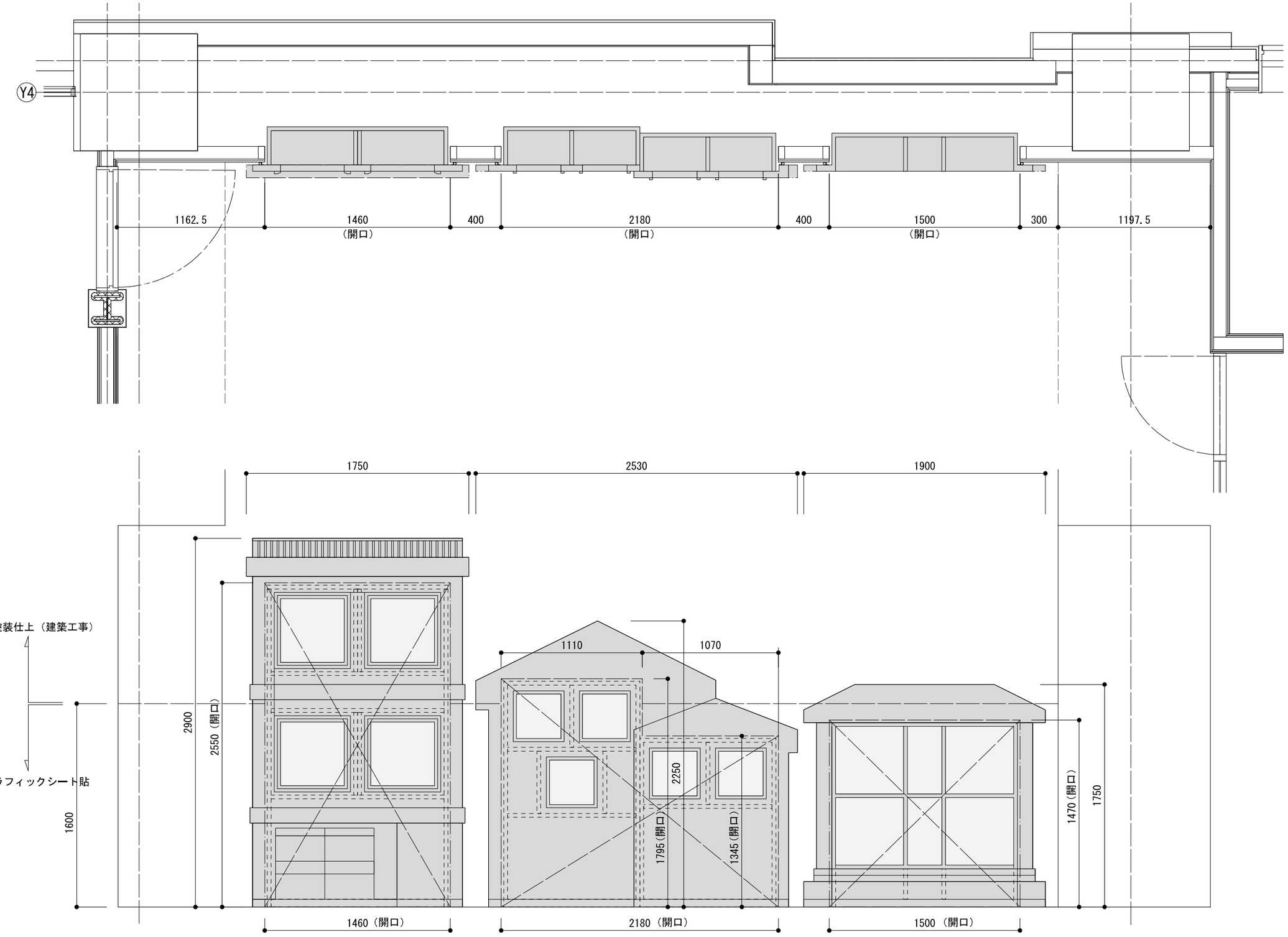




箇所が展示委託対象物

B	119番通報体験	A1=	最終版 ****.**.**
10	什器図	A3= 1：30	見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

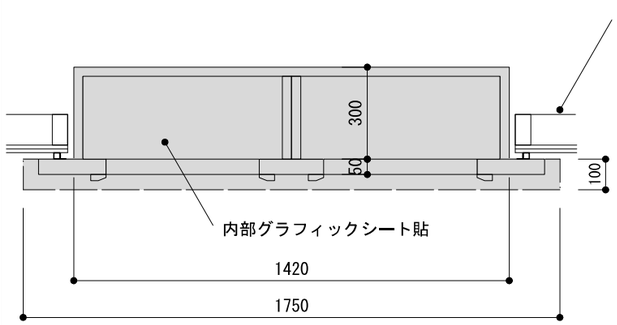
000-ATH1.dwg　2020713

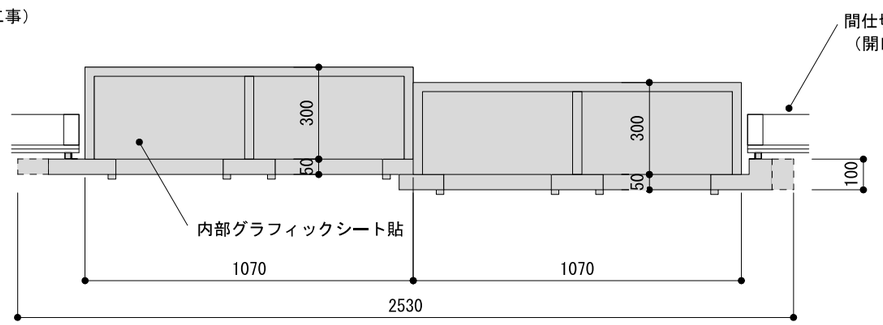


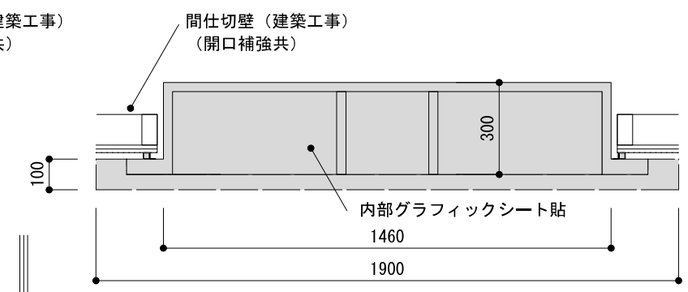
箇所が展示委託対象物

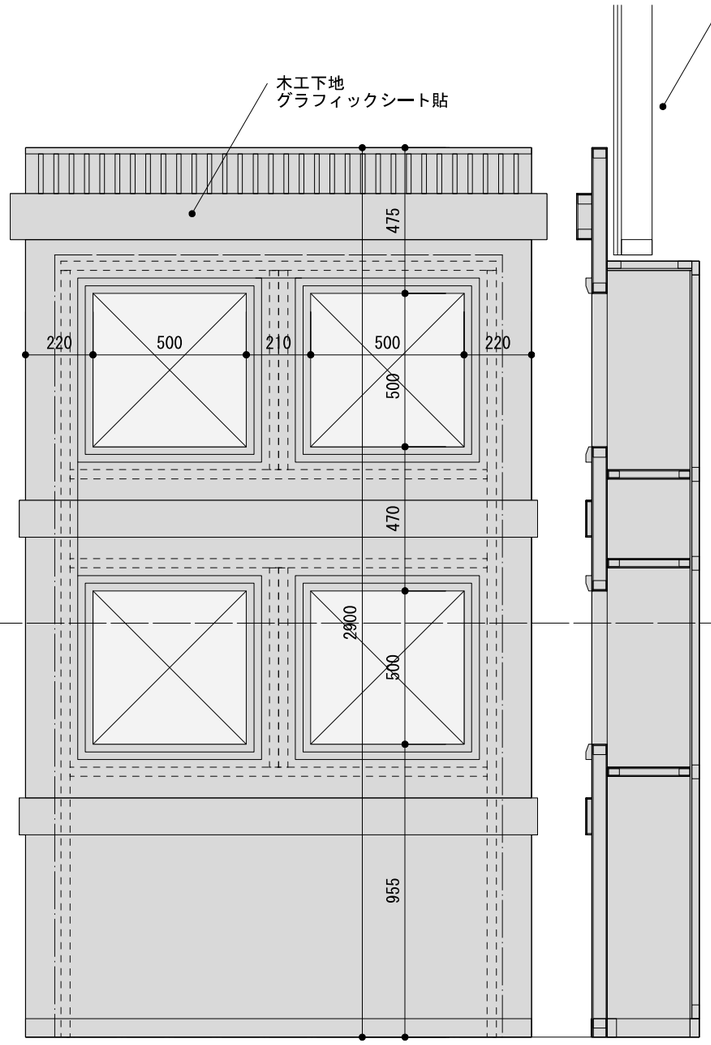
B	川越防災タウンイラスト A1= A3= 1：30	最終版 ****.**.**
12	什器図	見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所	最終契約版 ****.**.**

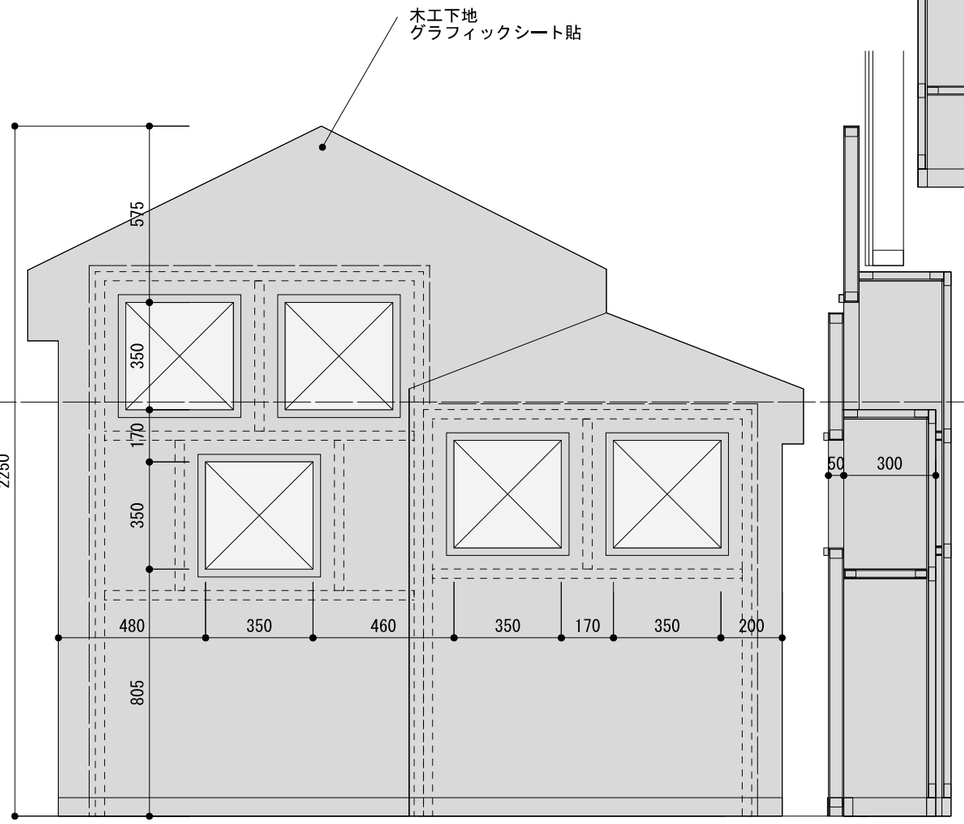
000-ATH1.dwg 2020713

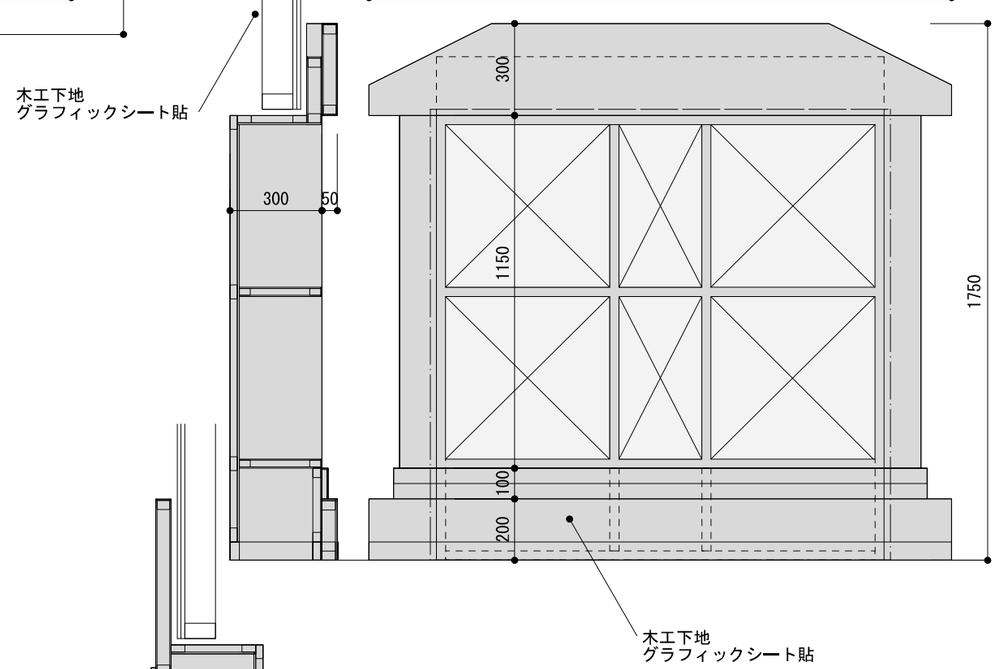


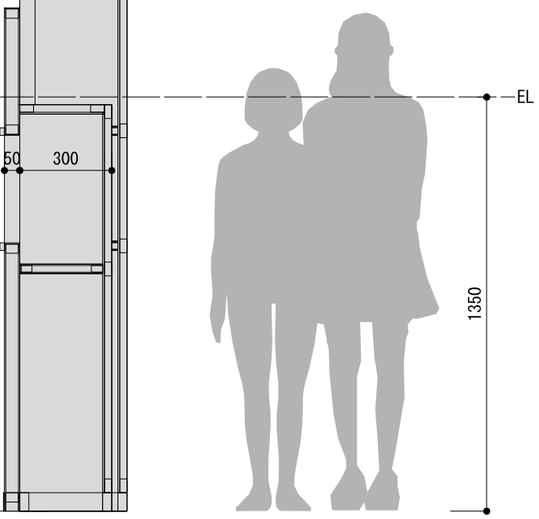








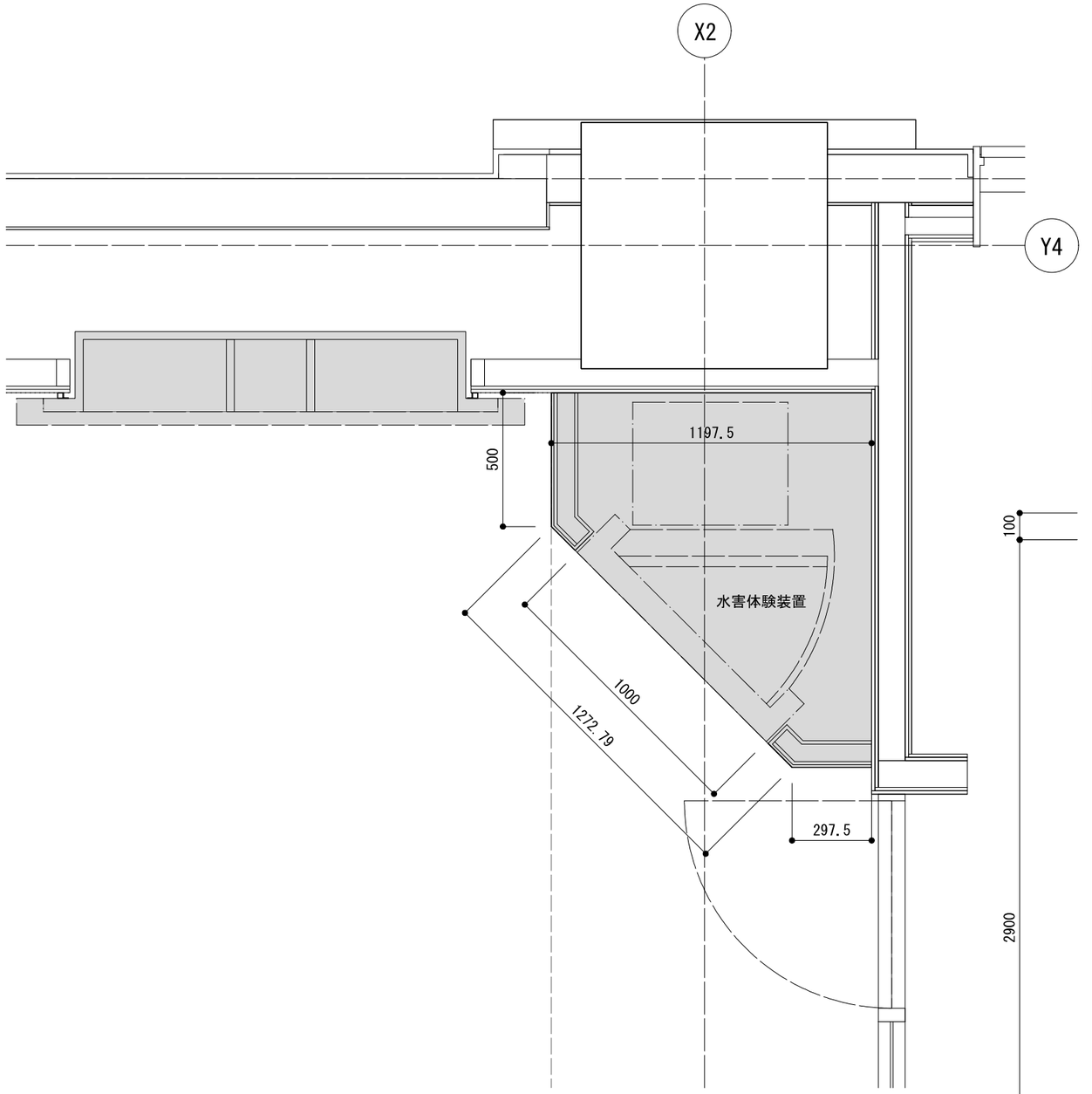


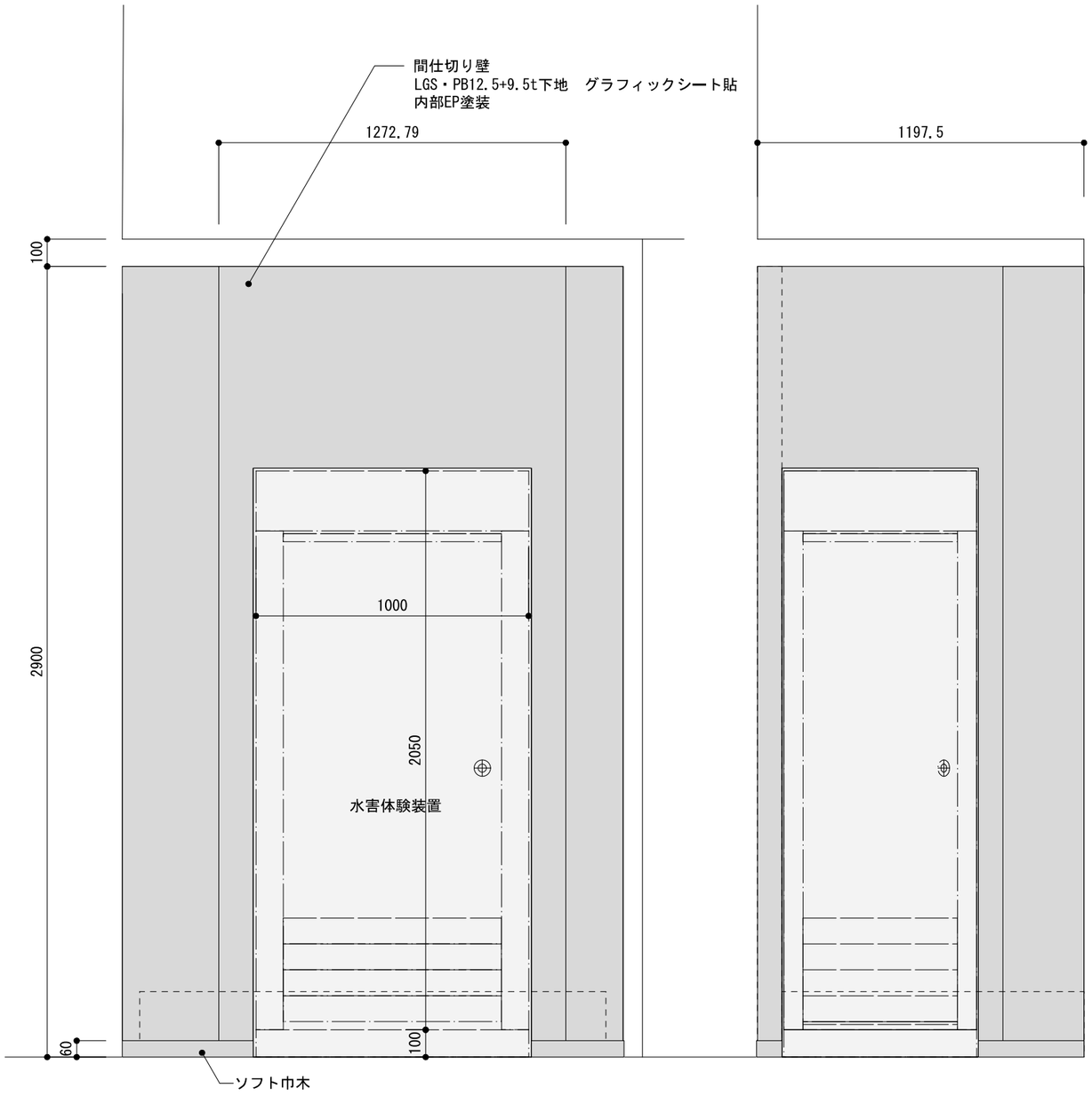


箇所が展示委託対象物

B	川越防災タウンイラスト	A1=	最終版 ****.**.**
13	什器図	A3= 1 : 20	見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

000-ATH1.dwg 2020713

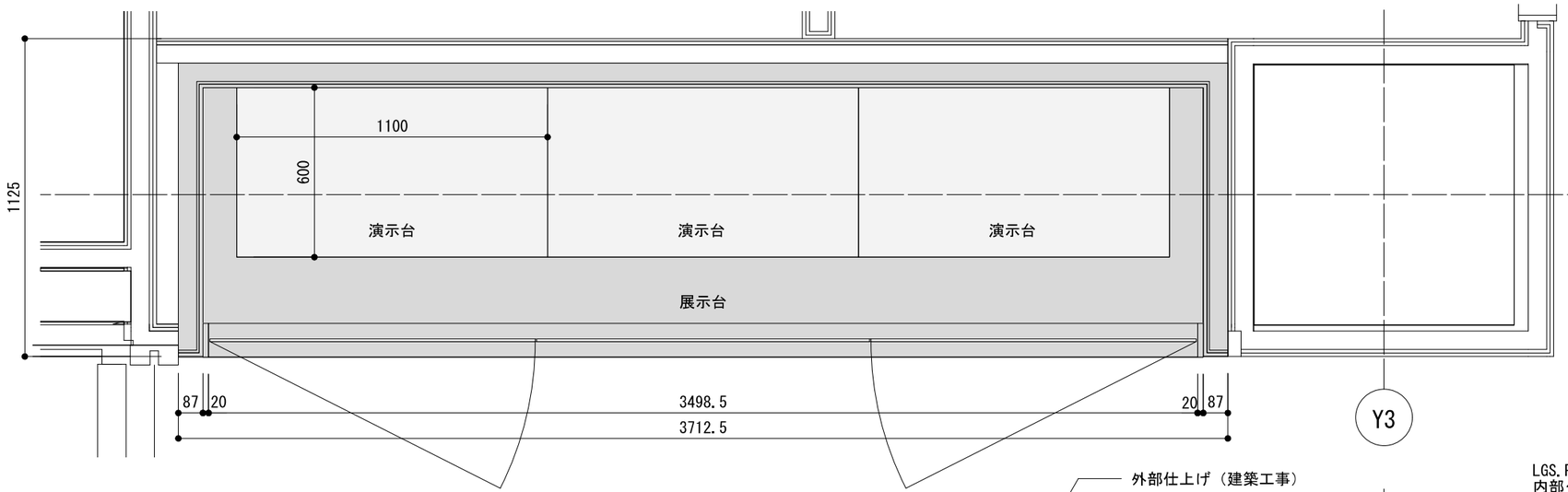


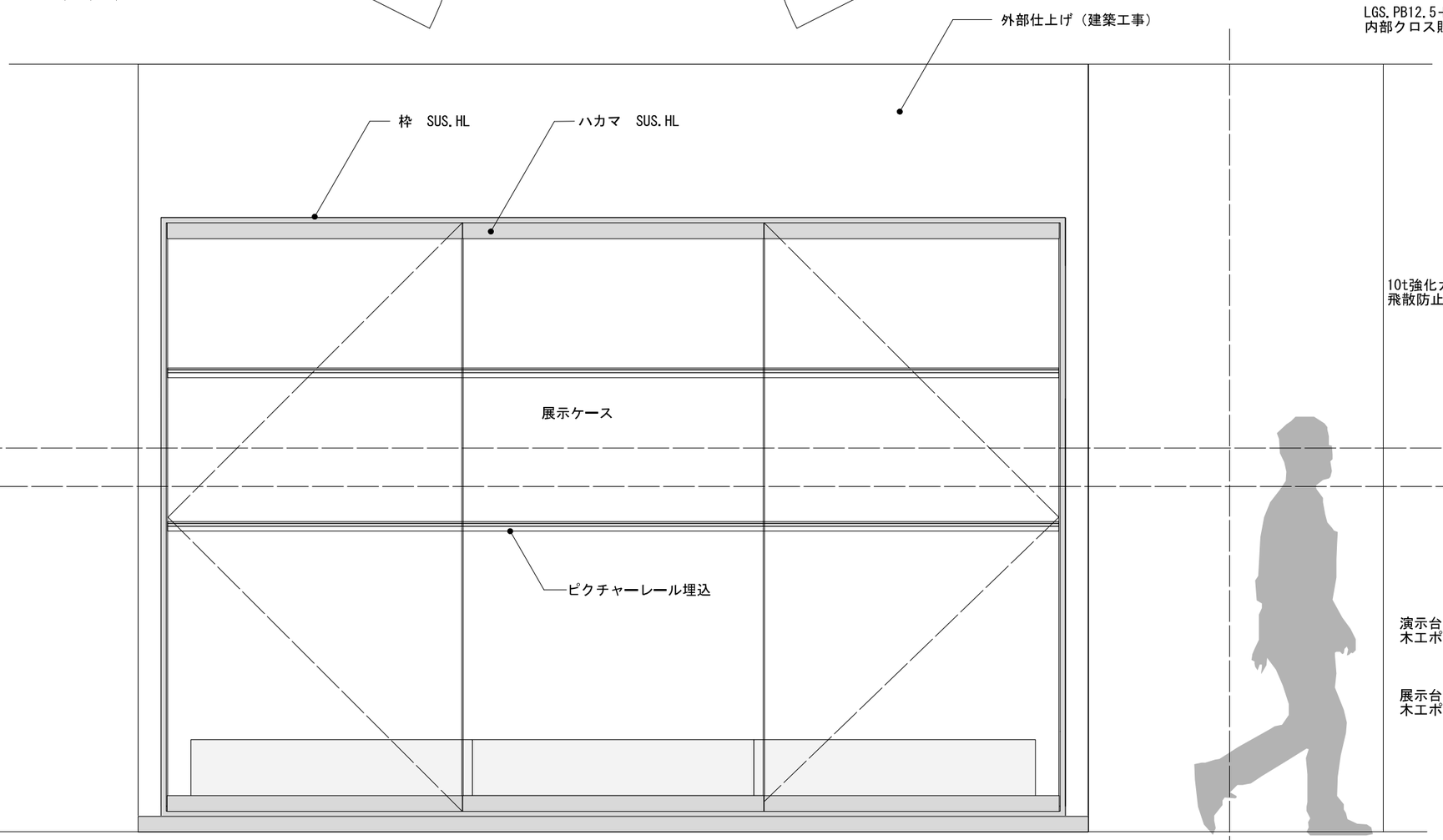


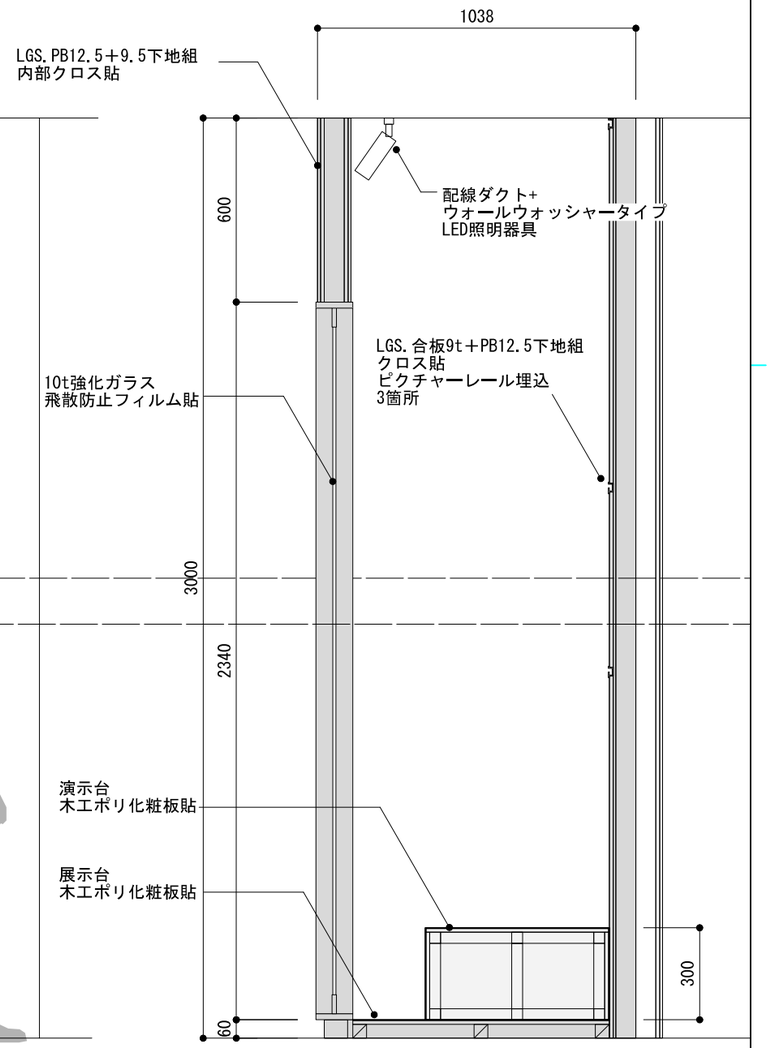
グレー箇所が展示委託対象物

B	水害体験	A1=	設終版 ****.**.**
14	什器図	A3= 1：20	見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		設終契約版 ****.**.**

000-ATH1.dwg　2020713







箇所が展示委託対象物

B	消防の仕事	A1=	最終版 ****.**.**
15	什器図	A3= 1：20	現積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

000-ATH1.dwg　2020713

箇所が展示委託対象物

B	防災グッズウォール什器図	A1= A3= 1：20	最終版 ****.**.**
16			見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

000-ATH1.dwg　2020713

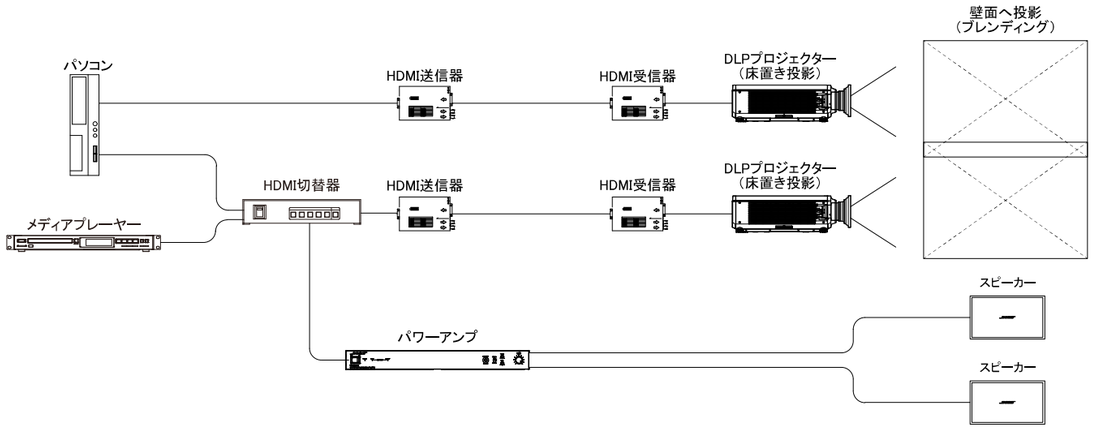
★ 大型壁面映像

・2台のプロジェクターを用い、壁面に投影

システム図

番号	名称		数量
1	パソコン	Endeavor JM8400	1台
2	メディアプレーヤー	BD-MP1MKⅡ	1台
3	HDMI切替器	US-41	1台
4	HDMI送信機	CRO-H26T	2台
5	HDMI受信機	CRO-URS2A	2台
6	DLPレーザープロジェクター	PT-REZ10JLW	2台
7	オプションレンズ	ET-C1T700	2台
8	パワーアンプ	IZA2120-LZ	1台
9	スピーカー	DM5SE	1組

※機器に関しては同等品以上とする。

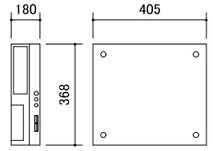


映像のブレンディングは、プロジェクターの機能で実施することとします。

機器姿図

1 パソコン

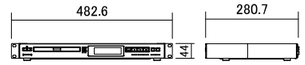
Endeavor JM8400



OS	Win10 IoT Enterprise 22021 LTSC
CPU	Intel Core i7
メモリ	32GB
消費電力	747.1W
寸法	W180×H368×D405(mm)
重量	10kg

2 メディアプレーヤー

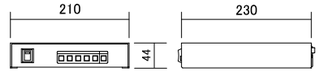
BD-MP1MKⅡ



再生メディア	ブルーレイ//DVD/SD/USB
消費電力	30W
寸法	W482.6×H44×D280.7(mm)
重量	2.64kg

3 HDMI切替器

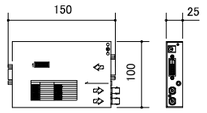
US-41



入出力数	入力4出力2
消費電力	12W
寸法	W210×H44×D230(mm)
重量	2.1kg

4 HDMI送信器

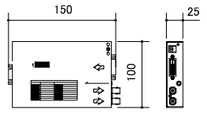
CRO-H26T



入出力	HDMI→5CFB
消費電力	3W
寸法	W150×H100×25(mm)
重量	550g

5 HDMI受信器

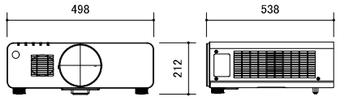
CRO-URS2A



入出力	5CFB→HDMI
消費電力	6W
寸法	W150×H100×25(mm)
重量	550g

6 DLPプロジェクター

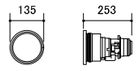
PT-REZ10JLW



解像度	1920×1200
光出力	10000lm
消費電力	700W
寸法	W498×H212×D538(mm)

7 オプションレンズ

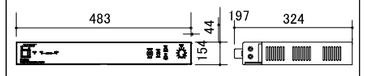
ET-C1T700



F値	1.94～2.38
焦点距離	36.1～59.6(mm)
寸法	W135×H148×D253(mm)
重量	2.4kg

8 パワーアンプ

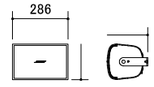
IZA2120-LZ



定格出力	60W＋60W (8Ω)
消費電力	300W
寸法	W483×H44×D324(mm)
重量	4.1kg

9 スピーカー

DM5SE



許容入力	60W
寸法	W286×H192×D197(mm)
重量	4.38kg

B	映像システム図/ 機器姿図-1	A1=	最終版 ****.**.**
17		A3= NON	見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

000-ATH1.dwg 2020713

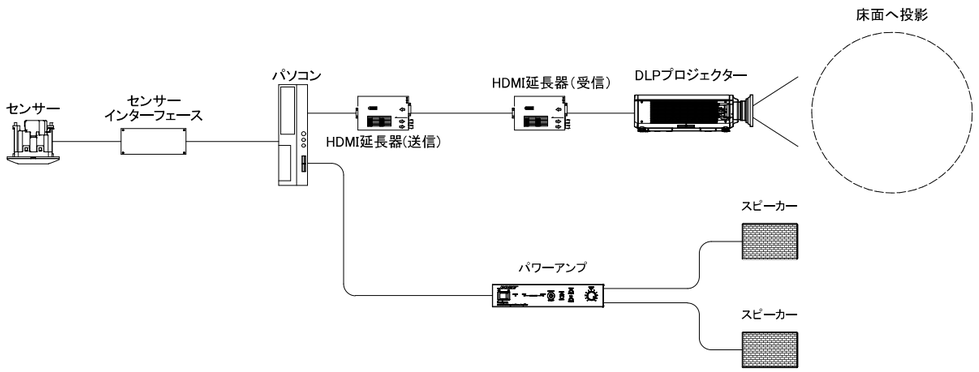
★ 床グラフィック円形投影映像

・1台のプロジェクターを用い、床面に投影

番号	名称		数量
1	センサー	WTK2611K	1台
2	DLPレーザープロジェクター	PT-REZ10JLW	1台
3	オプションレンズ	ET-C1T700	1台
4	パソコン	Endeavor JM8400	1台
5	HDMI延長器（送信）	CRO-H26T	1台
6	HDMI延長器（受信）	CRO-URS2A	1台
7	パワーアンプ	IZA250-LZ	1台
8	スピーカー	DM3SE	2台
9	センサーインターフェース	特注製作	1台

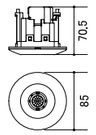
※機器に関しては同等品以上とする。

システム図



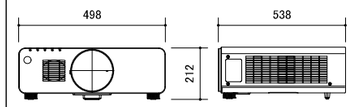
機器姿図

1 センサー WTK2611K



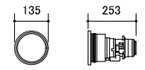
仕様	熱線センサー式
寸法	W85×H85×D70.5(mm)
消費電力	0.8W
重量	650g

2 DLPプロジェクター PT-REZ10JLW



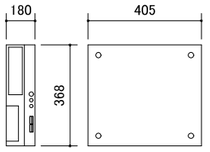
解像度	1920×1200
明るさ	10000lm
消費電力	700W
寸法	W498×H212×D538(mm)

3 オプションレンズ ET-C1T700



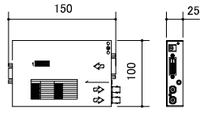
F値	1.94～2.38
焦点距離	36.1～59.6(mm)
寸法	W135×H148×D253(mm)
重量	2.4kg

4 パソコン Endeavor JM8400



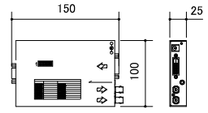
OS	Win10 IoT Enterprise 2012 LTSC
CPU	Intel Core i7
メモリ	32GB
消費電力	747.1W
寸法	W180×H368×D405(mm)
重量	10kg

5 HDMI延長送信器 CRO-H26T



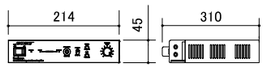
入出力	HDMI→5CFB
消費電力	3W
寸法	W150×H100×25(mm)
重量	550g

6 HDMI延長受信器 CRO-URS2A



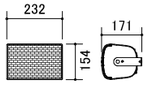
入出力	5CFB→HDMI
消費電力	6W
寸法	W150×H100×25(mm)
重量	550g

7 パワーアンプ IZA250-LZ



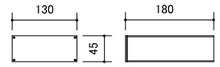
定格出力	50W＋50W
消費電力	200W
寸法	W214×H45×D310(mm)
重量	3.0kg

8 スピーカー DM3SE



許容入力	25W
寸法	W232×H154×D171(mm)
重量	3.42kg

9 センサーインターフェース 特注製作



消費電力	30W
寸法	W130×H45×D180(mm)
重量	2.0kg

B	映像システム図/機器姿図-2	A1= A3= NON	最終版 ****.**.**
18			見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

000-ATH1.dwg 2020713

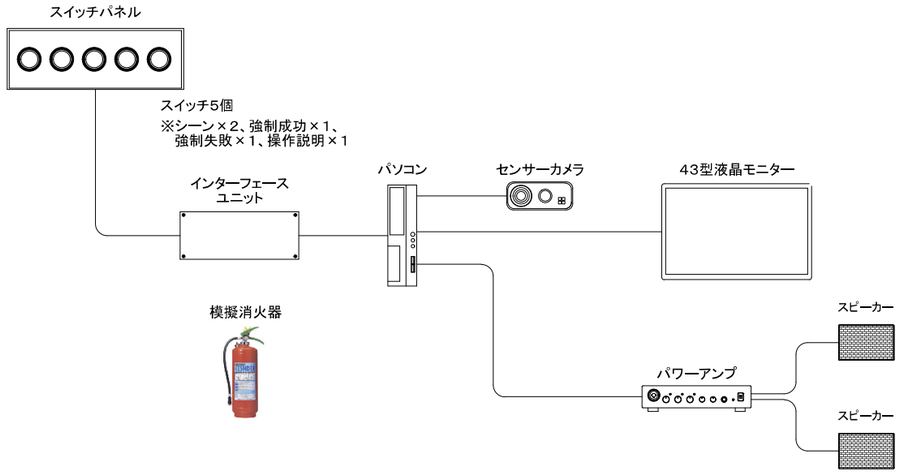
★ 消火体験

・模擬消火器を使用し、センサーカメラで撮影した体験者の動作
　を解析して消火を体験する

番号	名称		数量
1	スイッチ	特注製作	4個
2	43型液晶モニター	PN-HS431	1台
3	上記取付金具	MH-451B	1台
4	模擬消火器	ケスンダー	1台
5	センサーカメラ	intel Real Sence D435i	1台
6	パソコン	Endeavor JM8400	1台
7	パワーアンプ	MA2030a	1台
8	スピーカー	DM3SE	2台
9	インターフェースユニット	特注製作	1台

※機器に関しては同等品以上とする。

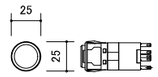
システム図



機器姿図

1 スイッチ

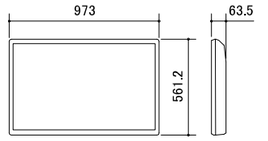
特注製作



色	ホワイト
寸法	W25×H25×D59.5(mm)
重量	30g

2 43型液晶モニター

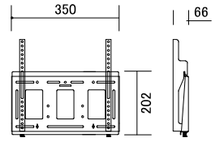
PN-HS431



有効表示領域	W941.184×H529.416(mm)
表示画素数	3840×2160
消費電力	140W
寸法	W973×H561.2×D63.5(mm)
重量	11.5kg

3 取付金具

MH-431B



寸法	W350×H202×D66(mm)
重量	2.5kg

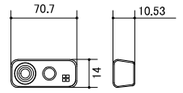
4 模擬消火器

ケスンダー

放射距離	5～7m
消費電力	–W
寸法	W100×H510×D240(mm)
重量	2.8kg

5 センサーカメラ

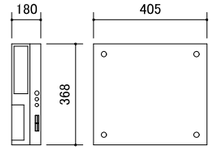
intel Real Sence D435i



通信ケーブル	USB 3.0
消費電力	6W
寸法	W70.7×H14×D10.53(mm)
重量	440g

6 パソコン

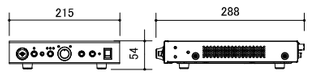
Endeavor JM8400



OS	Win10 IoT Enterprise 2021 LTSC
CPU	Intel Core i7
メモリ	32GB
消費電力	747.1W
寸法	W180×H368×D405(mm)
重量	10kg

7 パワーアンプ

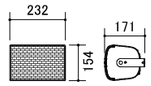
MA2030a



定格出力	35W×2(8Ω)/30W×2(4Ω)
消費電力	30W
寸法	W215×H54×D288(mm)
重量	1.8kg

8 スピーカー

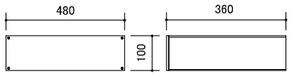
DM3SE



許容入力	25W
寸法	W232×H154×D171(mm)
重量	3.42kg

9 インターフェースユニット

特注製作



消費電力	50W
寸法	W480×H100×D360(mm)
重量	2.0kg

B	映像システム図/ 機器姿図-3	A1= A3= NON	最終版 ****.**.**
19			見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

000-ATH1.dwg　2020713

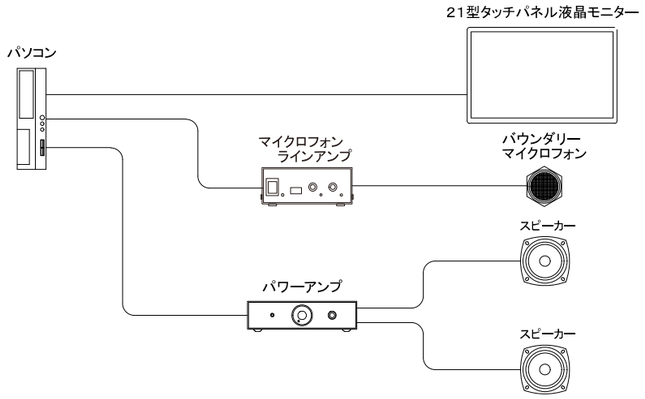
★ 119番通報体験

・一般電話・携帯電話・公衆電話からの119番通報を
体験する装置。実物の電話機を置かず、各電話機は、
アニメーション等画面内に表示。

番号	名称		数量
1	21型タッチパネル液晶モニター	ET2203L	1台
2	パソコン	Endeavor JM8400	1台
3	バウンダリーマイクロフォン	ES9450WO/XLR	1台
4	マイクロフォンラインアンプ	AT-MCA20b	1台
5	パワーアンプ	AP15mk2	1台
6	スピーカー	FE103NV	2台

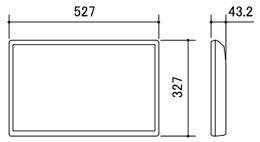
※機器に関しては同等品以上とする。

システム図



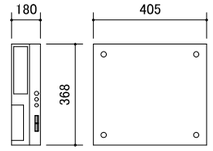
機器姿図

1 21型タッチパネル液晶モニター ET2202L



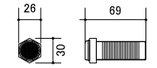
有効表示領域	W478.1×H269.6(mm)
表示画素数	1920×1080
消費電力	48W
寸法	W527×H327×D43.2(mm)
重量	4.3kg

2 パソコン Endeavor JM8400



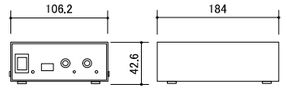
OS	Win10 IoT Enterprise 2021 LTSC
CPU	Intel Core i7
メモリ	32GB
消費電力	747.1W
寸法	W180×H368×D405(mm)
重量	10kg

3 バウンダリーマイクロフォン ES9450WO/XLR



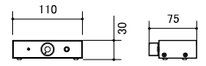
形式	バックエレクトレット・コンデンサー型
消費電力	-W
寸法	W26×H69×D30(mm)
重量	62g

4 マイクロフォンラインアンプ AT-MCA20b



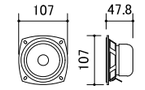
アナログ入出力	MIC/LINE
消費電力	3.3W
寸法	W106.2×H42.6×D184(mm)
重量	650g

5 パワーアンプ AP15mk2



定格出力	15W×2
消費電力	45W
寸法	W110×H30×D75(mm)
重量	250g

5 スピーカー FE103NV



許容入力	10W
寸法	Φ107×D47.8(mm)
重量	566g

B	映像システム図/	A1=	最終版 ****.**.**
20	機器姿図-4	A3= NON	見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

000-ATH1.dwg 2020713

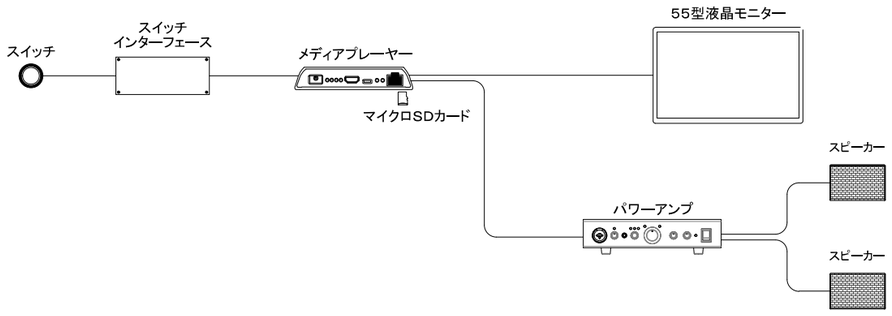
★ ガイダンス映像

・スイッチ1選択式の解説映像

システム図

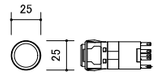
番号	名称		数量
1	スイッチ	特注製作	1個
2	55型液晶モニター	PN-HS551	1台
3	上記取付金具	MH-651B	1台
4	メディアプレーヤー	HD225	1台
5	マイクロSDカード	16GB	1枚
6	パワーアンプ	MA2030a	1台
7	スピーカー	FS4SE	2台
8	スイッチインターフェース	特注製作	1台

※機器に関しては同等品以上とする。



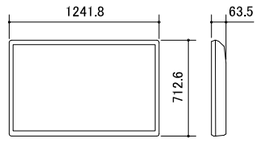
機器姿図

1	スイッチ	特注製作



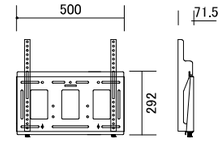
色	ホワイト
寸法	W25×H25×D59.5(mm)
重量	30g

2	55型液晶モニター	PN-HS551



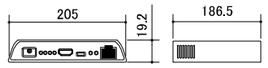
有効表示領域	W1209.6×H680.4(mm)
表示画素数	3840×2160
消費電力	190W
寸法	W1241.8×H712.6×D63.5(mm)
重量	18.0kg

3	取付金具	MH-651B



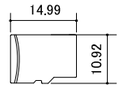
寸法	W500×H292×D71.5(mm)
重量	4.5kg

4	メディアプレーヤー	HD225



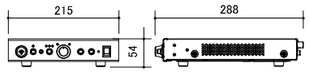
出力	HDMI/ステレオミニジャック
消費電力	30W
寸法	W205×H19.2×D186.5(mm)
重量	340g

5	マイクロSDカード	Class 10 16GB



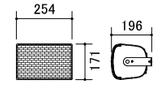
容量	16GB
寸法	W14.99×H10.92×D1.02(mm)
重量	30g

6	パワーアンプ	MA2030a



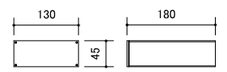
定格出力	30W×2(8Ω)/30W×2(4Ω)
消費電力	30W
寸法	W215×H54×D288(mm)
重量	1.8kg

7	スピーカー	FS4SE



許容入力	50W
寸法	W254×H171×D196(mm)
重量	3.08kg

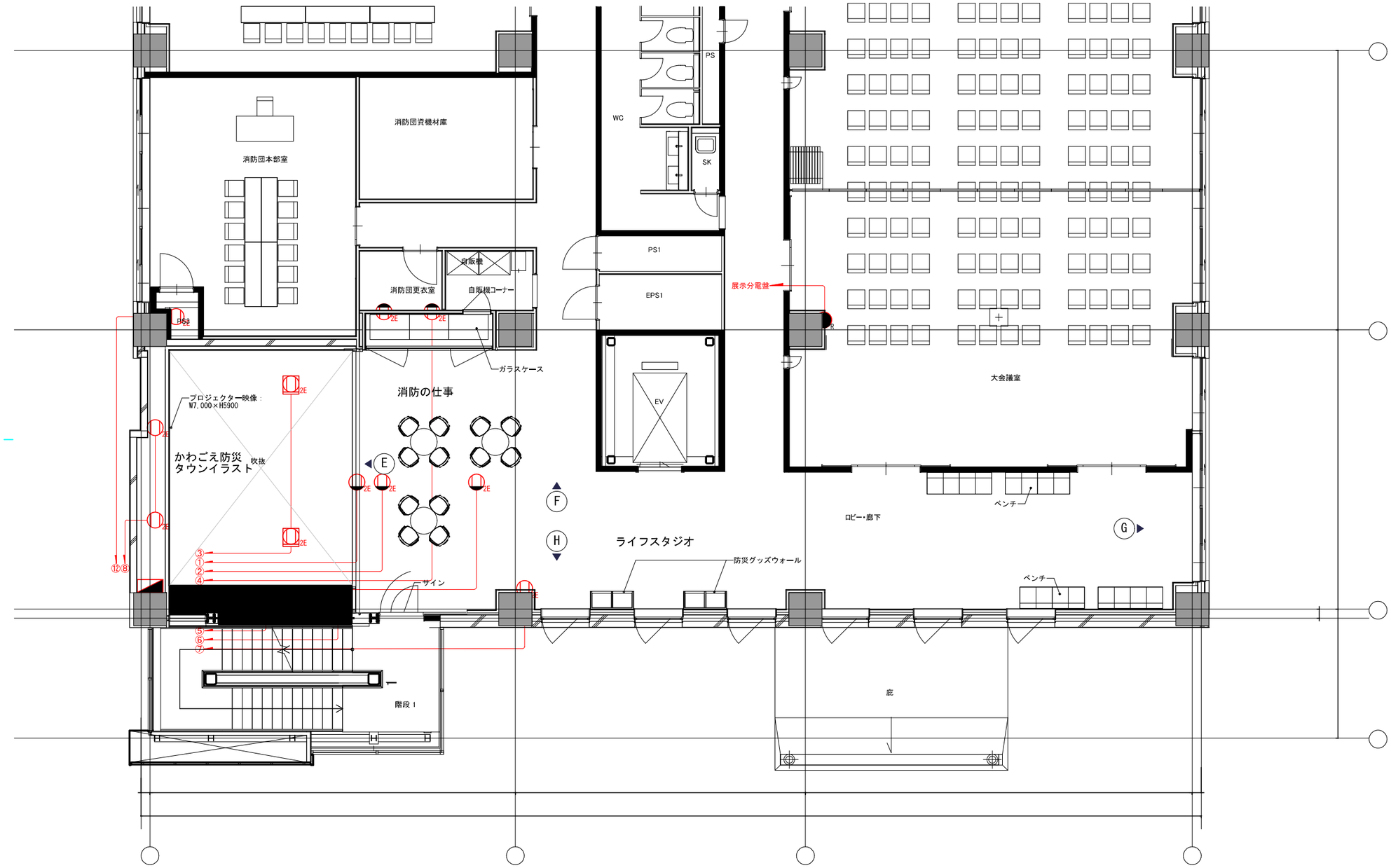
8	スイッチインターフェース	特注製作



消費電力	30W
寸法	W130×H45×D180(mm)
重量	2.0kg

B	映像システム図/ 機器姿図-5	A1= A3= NON	最終版 ****.**.**
21			見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

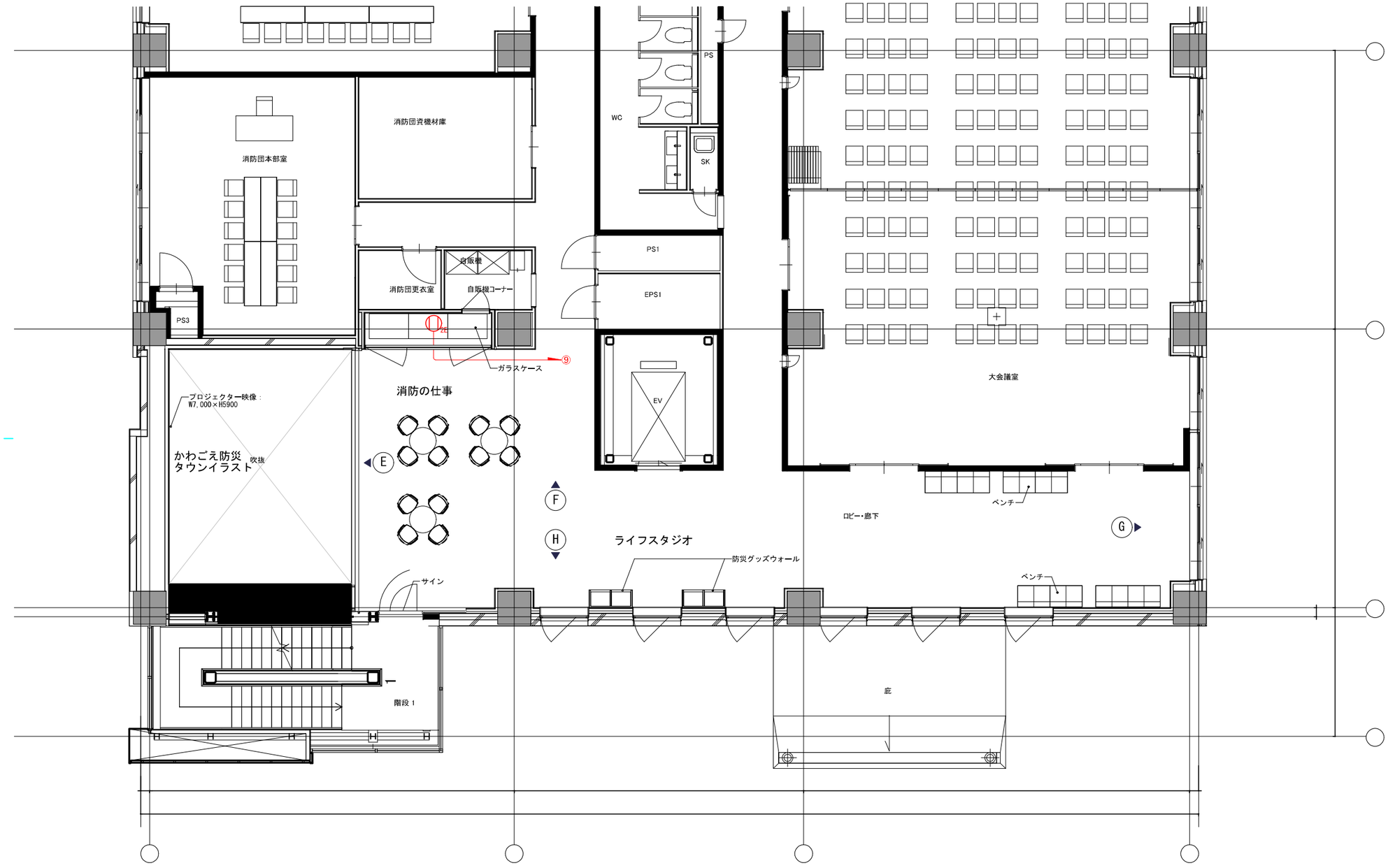
000-ATH1.dwg 2020713



表記無き物は、下記とする			
2E	抜け止め露出ダブルコンセントアース付き　接続先：展示分電盤　使用ケーブル：VVF2.0-3C		
2E	埋め込み設置ダブルコンセントアース付き　接続先：展示分電盤　使用ケーブル：VVF2.0-3C		
2E	2重床コンセント		
R	リモコンスイッチ　接続先：展示分電盤　仕様ケーブル　CPEV1.2-1P		
	展示分電盤		

B	1Fコンセント配置図	A1=	最終版 ****.**.**
22		A3= NON	見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

000-ATH1.dwg　2020713



表記無き物は、下記とする			
DE	抜け止め露出ダブルコンセントアース付き　接続先：展示分電盤　使用ケーブル：VVF2.0-3C		
DE	埋め込み設置ダブルコンセントアース付き　接続先：展示分電盤　使用ケーブル：VVF2.0-3C		
DE	2重床コンセント		
R	リモコンスイッチ　接続先：展示分電盤　仕様ケーブル　CPEV1.2-1P		
	展示分電盤		

B	2Fコンセント配置図	A1=	最終版 ****.**.**
23		A3= NON	見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

000-ATH1.dwg　2020713

主幹 ELCB　100AF/100AT
分岐数　11
予備　3
リモコンブレーカー数　14
リモコンSW　1

皮相電力（VA）	有効電力（W）	負荷名称	リモコンリレー	分岐開閉器				系統番号	系統番号	分岐開閉器				リモコンリレー	負荷名称	有効電力（W）	皮相電力（VA）
			R-Ry	極数	AF/AT	種別	電圧			電圧	種別	AF/AT	極数	R-Ry			
1437.5	1150	VP①	○	2	30/20	MCB	100	①	②	100	MCB	30/20	2	○	VP②	1150	1437.5
1875	1500	床コン2か所	○	2	30/20	MCB	100	③	④	100	MCB	30/20	2	○	119番通報体験 タッチパネルモニター2か所	850	1062.5
1137.5	910	初期消火体験 モニター①	○	2	30/20	MCB	100	⑤	⑥	100	MCB	30/20	2	○	初期消火体験 モニター②	910	1137.5
200	160	ガイダンス体験	○	2	30/20	MCB	100	⑦	⑧	100	MCB	30/20	2	○	川越防災タウンイラスト	800	1000
250	200	消防の仕事（2F）	○	2	30/20	MCB	100	⑨	⑩	100	MCB	30/20	2	○	ハザードマップ模型（上部VP）	1110	1387.5
1875	1500	予備	○	2	30/20	MCB	100	⑪	⑫	100	MCB	30/20	2	○	水害体験	1000	1250
1875	1500	予備	○	2	30/20	MCB	100	⑬	⑭	100	MCB	30/20	2	○	予備	1500	1875
0	0															0	0

力率%
0.80%

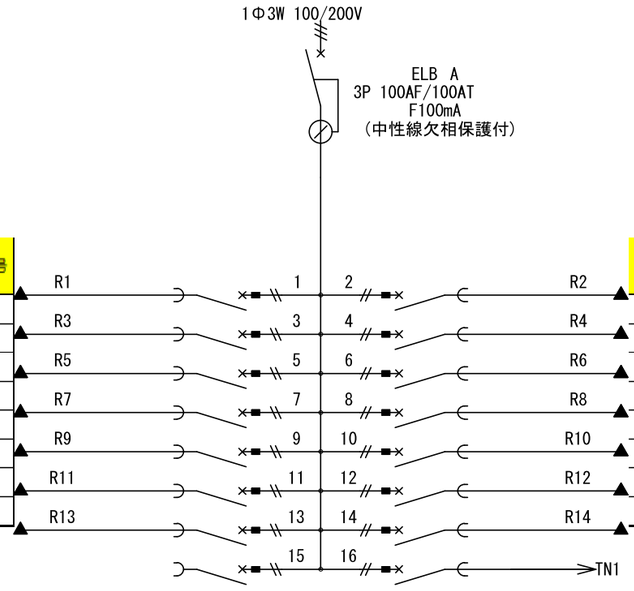
R-S 負荷容量
8650 VA

T-S 負荷容量
9150 VA

全負荷容量
17800 VA

B	分電盤容量計算書	A1=	最終版 ****.**.**
24		A3= NON	見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

000-ATH1.dwg　2020713



皮相電力（VA）	有効電力（W）	負荷名称	リモコンリレー	分岐開閉器				系統番号
			R-Ry	極数	AF/AT	種別	電圧	
1437.5	1150	VP①	○	2	30/20	MCB	100	①
1875	1500	床コン2か所	○	2	30/20	MCB	100	③
1137.5	910	初期消火体験 モニター①	○	2	30/20	MCB	100	⑤
200	160	ガイダンス体験	○	2	30/20	MCB	100	⑦
250	200	消防の仕事（2F）	○	2	30/20	MCB	100	⑨
1875	1500	予備	○	2	30/20	MCB	100	⑪
1875	1500	予備	○	2	30/20	MCB	100	⑬
0	0							

系統番号	分岐開閉器				リモコンリレー	負荷名称	有効電力（W）	皮相電力（VA）
	電圧	種別	AF/AT	極数	R-Ry			
②	100	MCB	30/20	2	○	VP②	1150	1437.5
④	100	MCB	30/20	2	○	119番通報体験 タッチパネルモニター2か所	850	1062.5
⑥	100	MCB	30/20	2	○	初期消火体験 モニター②	910	1137.5
⑧	100	MCB	30/20	2	○	川越防災タウンイラスト	800	1000
⑩	100	MCB	30/20	2	○	ハザードマップ模型（上部VP）	1110	1387.5
⑫	100	MCB	30/20	2	○	水害体験	1000	1250
⑭	100	MCB	30/20	2	○	予備	1500	1875
							0	0

B	分電盤詳細図	A1=	最終版 ****.**.**
25		A3= NON	見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

000-ATH1.dwg 2020713

災害シミュレーション

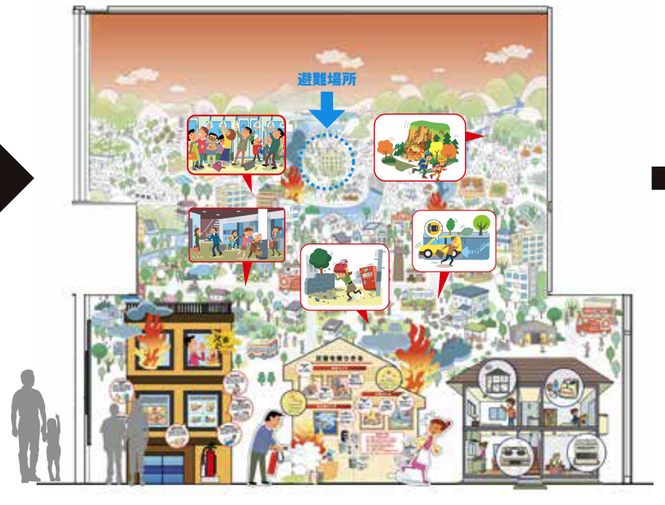
吹き抜け空間壁面イラスト映像イメージ。
日常の街のなかで起こる自然災害や災害の街への広がり方、災害時の避難方法や
避難場所などを映像解説します。
変化する街に合わせて解説することで、よりわかりやすく臨場感を盛り上げます。

① 例えば… 街の風景に…

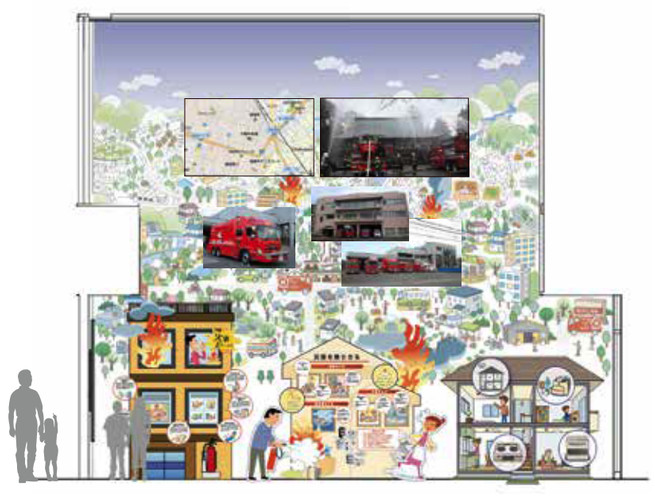
② 突然警報が鳴り緊急速報が映し出される…

③ 災害発生場所や注意がイラストに付加される…

④ 様々な場所での避難方法と注意が喚起される…



⑤ 消防車の出動やその活躍映像が流れる…



⑥ 取り戻された街の平和な日常が映し出される…

B	A1=NON A3=NON	最終版	****.**.**
26	映像コンテンツ-1	見積版	****.**.**
	安井建築設計事務所	最終契約版	****.**.**

000-ATH1.dwg 2020713

ガイダンスの映像コンテンツの流れ

ガイダンス映像は 1. 川越地区の地域特有の災害と防災の説明を行なった後に 2. 消防庁舎の役割とお仕事について、3.来館者自身が災害から身を守るための行動を紹介します。

1.川越地区の地域特有の災害と防災

1分30秒程度

川越地区における地理的特徴と特有の災害について紹介と消防署の役割にふれる
※写真、動画は支給

2.消防庁舎の役割とお仕事

1分30秒程度

119番通報を受けてから、出動までの様子や日常の訓練を様子を紹介

3.災害から身を守るための行動

2分程度

地震、火災、水害から身を守るための行動をCG映像にて紹介

119 番体験の映像コンテンツの流れ

119 番通報体験は 1. 火災 / 救急の選択後に 2. 発生のシーンになり、来館者が電話を使用して 3. 受答えアクションを実施。その後 4. 成功 / 失敗の判定後に、5. 振り返りが流れます。

1. 火災 / 救急の選択

TOP画面に火災、救急の選択画面

2. 発生シーン
（火災編、救急編）

3. 受答えアクション

発生シーンはCG制作。

電話機は使用せずにタッチパネルにて操作。

4. 成功／失敗判定

5. 振り返り映像

消防隊員の方よる説明映像を撮影

B		A1=NON	最終版 ****.**.**
27	映像コンテンツ-2	A3=NON	見積版 ****.**.**
	安井建築設計事務所		最終契約版 ****.**.**

000-ATH1.dwg 2020713

初期消火体験の映像コンテンツの流れ

初期消火体験は 1. 消火器の説明を行なった後に 2. 火災発生のシーンになり、来館者が消火器を使用して 3. 消火アクションを実施。その後 4. 成功 / 失敗の判定後に、5. 振り返りや体験後の注意点が流れます。

1. 消火器の説明映像

消防隊員の方による説明映像を撮影

2. 火災発生シーン
（台所編、居間編）

3. 消火アクション

火災発生シーンは実写とCG加工編集にて制作

※火災発生シーンは１タイプで

4. 成功／失敗判定

5. 振り返り映像
体験後の注意点

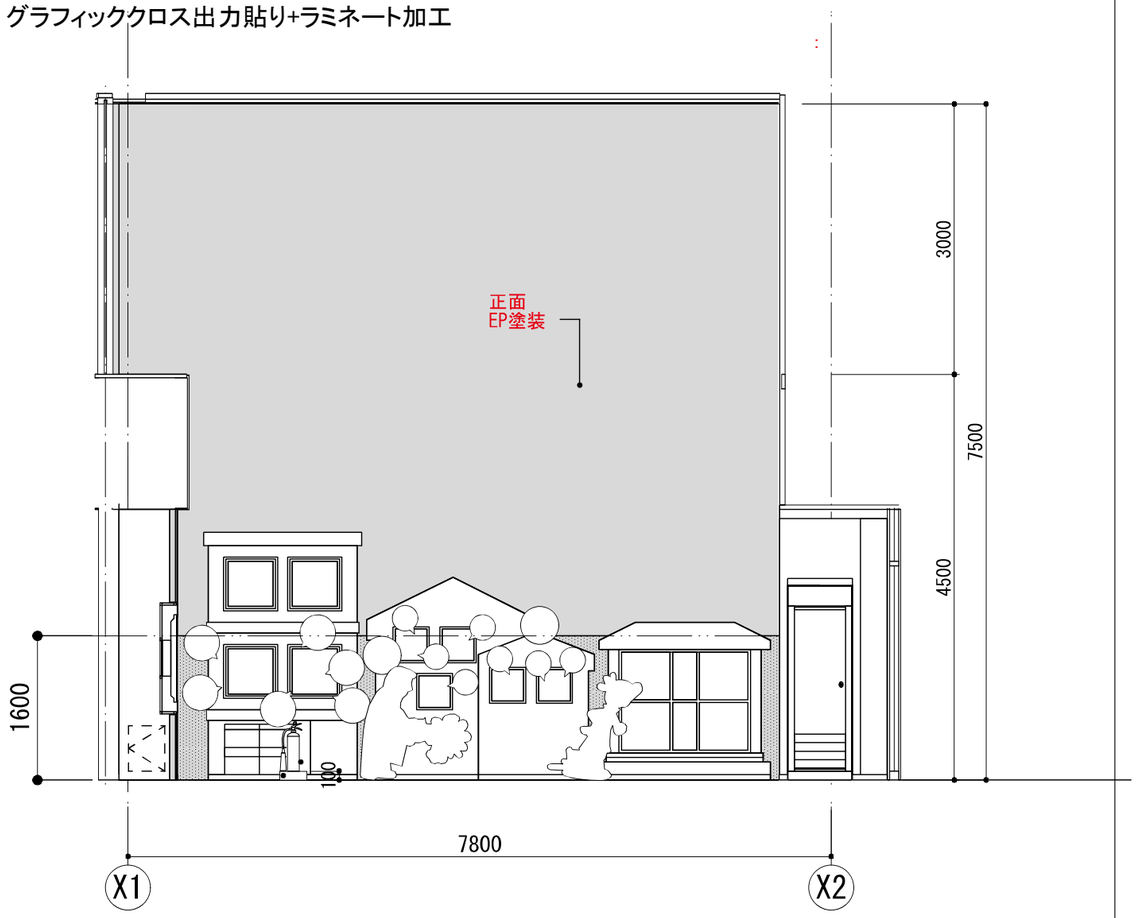
周囲のグラフィックデザインと合わせ画面製作

B	A1=NON A3=NON	最終版	****.**.**
28	映像コンテンツ-3	見積版	****.**.**
	安井建築設計事務所	最終契約版	****.**.**

000-ATH1.dwg 2020713

◯1階大型壁面正面グラフィック　W8600×H7500/1点

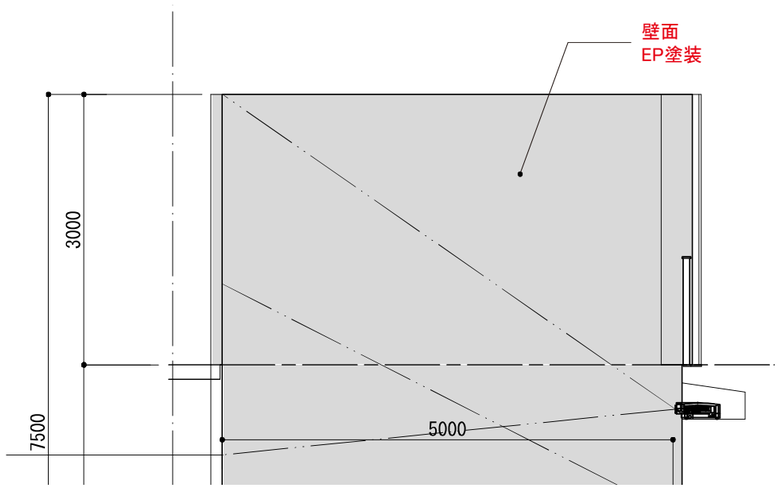
グラフィッククロス出力貼り+ラミネート加工



◯1階大型壁面側面グラフィック　W4870×H4420/2点

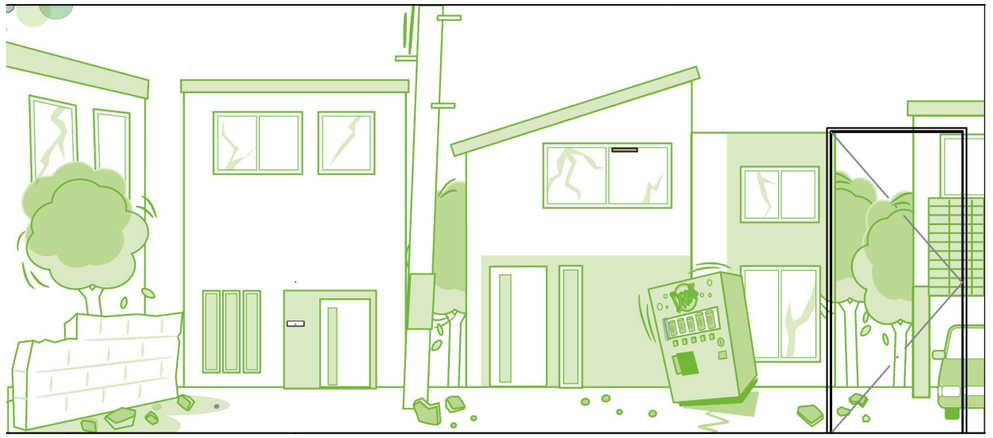
グラフィッククロス出力貼り+ラミネート加工

壁面EP塗装



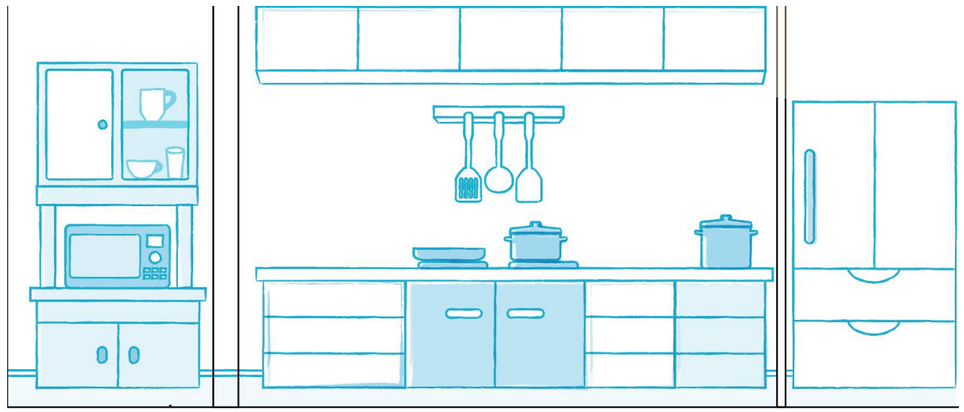
◯1階壁面グラフィック　W6865×H3000/1点

グラフィッククロス出力貼り+ラミネート加工



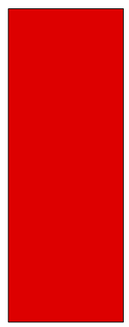
◯1階壁面グラフィック　W5750×H3000/1点

グラフィッククロス出力貼り+ラミネート加工



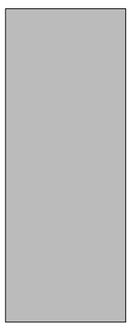
◯展示室サイン　W1100×H3000/1点

グラフィッククロス出力貼り+ラミネート加工



◯免震装置等解説　W1100×H3000/1点

グラフィッククロス出力貼り+ラミネート加工

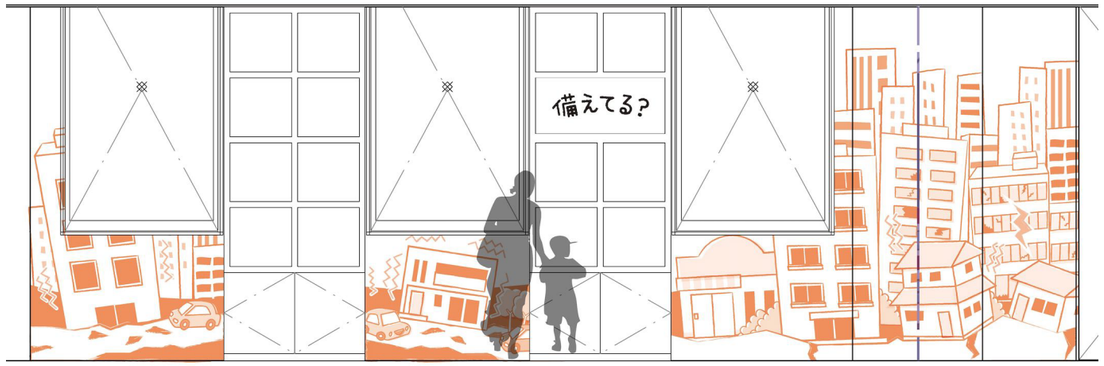


B	A1=NON A3=NON	最終版	****.**.**
29	サイン・グラフィック-1	見積版	****.**.**
	安井建築設計事務所	最終契約版	****.**.**

000-ATH1.dwg　2020713

◯2階壁面正面グラフィック　W8920×H3000/1点

グラフィッククロス出力貼り+ラミネート加工



◯屋外グラフィック　W1200×H700/6点

SUS+透明マットフィルム出力貼り（白裏打ち無し）

B	A1=NON A3=NON	最終版	****.**.**
30	サイン・グラフィック-2	見積版	****.**.**
	安井建築設計事務所	最終契約版	****.**.**

000-ATH1.dwg　2020713